

ビデオプロジェクター
LSPX-A1



ビデオプロジェクターを使っていて、困ったときやわからないことがあったときに使うマニュアルです。

ビデオプロジェクターの楽しみかたについて

プロジェクターの特長を紹介しています。

お使いになる前に

[内容品を確認する](#)

各部の名称

[各部の名称（プロジェクター）](#)

[各部の名称（サブウーファー）](#)

[各部の名称（リモコン）](#)

設置する

[設置についてのご注意](#)

[設置の手順](#)

[設置距離と画面サイズ](#)

[投写サイズを調整する](#)

[画面の傾きを調整する](#)

[HDMI機器を接続する](#)

電源を入れる

[リモコンに電池を入れる](#)

[リモコンで電源を入／切する](#)

映像を楽しむ

[映像を投写する](#)

[音量を調節する](#)

[画質を調整する](#)

[音質を調整する](#)

[重低音レベルを調整する](#)

各種設定

[メニューを操作する](#)

画質設定メニュー

- └ [ピクチャープリセット](#)
- └ [標準に戻す](#)
- └ [リアリティークリエーション](#)
- └ [シネマブラックプロ](#)
- └ [モーションフロー](#)
- └ [コントラスト](#)
- └ [明るさ](#)
- └ [色の濃さ](#)
- └ [色あい](#)
- └ [色温度](#)
- └ [シャープネス](#)
- └ [エキスパート設定](#)

画質詳細設定メニュー

- └ [オートキャリブレーション](#)

スクリーン設定メニュー

- └ [アスペクト](#)
- └ [ブランキング](#)
- └ [イメージシフト](#)

初期設定メニュー

[画面表示](#)

[表示言語](#)

[メニュー位置](#)

[高地モード](#)

[ネットワーク管理](#)

[パワーセービング](#)

[初期化](#)

機能設定メニュー

[ダイナミックレンジ](#)

[HDMI信号フォーマット](#)

[テストパターン](#)

[セッティングロック](#)

[音量](#)

[音質モード](#)

[サブウーファーレベル](#)

[DSEE HX](#)

[操作音](#)

設置設定メニュー

[レンズコントロール](#)

[レンズズーム](#)

[レンズフォーカス](#)

[レンズシフト](#)

[トリガー切替](#)

[イルミネーション](#)

[パネルアライメント](#)

[フランジバック補正](#)

[ネットワーク設定](#)

情報メニュー

[プロジェクターの情報を確認する](#)

[ソフトウェアをアップデートする](#)

ネットワーク機能

[ネットワーク機能でできること](#)

[ネットワーク設定をする](#)

[コントロール画面を操作する](#)

使用上のご注意

[設置／使用に適さない状態について](#)

[使用上のご注意](#)

[ネットワークセキュリティに関するご注意](#)

[コーションラベル／機銘板について](#)

お手入れ

[エアーフィルターを掃除する](#)

[外装や投写口のお手入れ](#)

[ツイーターのお手入れ](#)

[保証書とアフターサービス](#)

故障かな？と思ったら

[メッセージ一覧](#)

[プロジェクター前面のランプが赤く光るときは](#)

よくある質問

[電源が入らない。](#)

[突然電源が切れた。](#)

[映像が映らない。](#)

[電源を入れた直後に黒画面になる。](#)

[明るい部分や暗い部分の映像が明るくなりすぎたり暗くなりすぎる。](#)

[画面が暗い。](#)

[画面がぼやける。](#)

[文字や映像の色ずれが気になる。](#)

[画面に残像が現れる。](#)

[画面がゆがんでいる。](#)

[レンズシフトが動かない。](#)

[HDR機能が動かない。](#)

[画面の一部にピンク色や緑色の色付きが発生する。](#)

[音が再生されない。](#)

[画面表示が出ない。](#)

[リモコンが働かない。](#)

[リモコンをなくして操作できない。](#)

[リモコンのランプがオレンジ色に点滅している。](#)

[ファンの音が気になる。](#)

[お問い合わせ先](#)

主な仕様

[主な仕様](#)

[入力信号種類・フォーマット一覧（プリセットメモリーナンバー）](#)

[入力信号と調整／設定項目](#)

[アスペクトモード](#)

[調整／設定項目の保存条件](#)

[商標について](#)

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

内容品を確認する

以下の内容品が揃っているか確認してください。 () 内は内容品の数量を示しています。

- ビデオプロジェクター（プロジェクター）（1）



- 棚板（1）



- 電源コード（1）



- 電源コード用プラグホルダー（1）



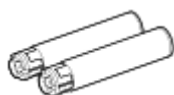
- サブウーファー（1）



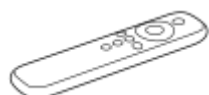
- サブウーファー用ケーブル（1）



- ツイーター（2）



- リモコン LSPX-A1R（1）



- 単4形乾電池（2）



- 脚部調整工具 (1)



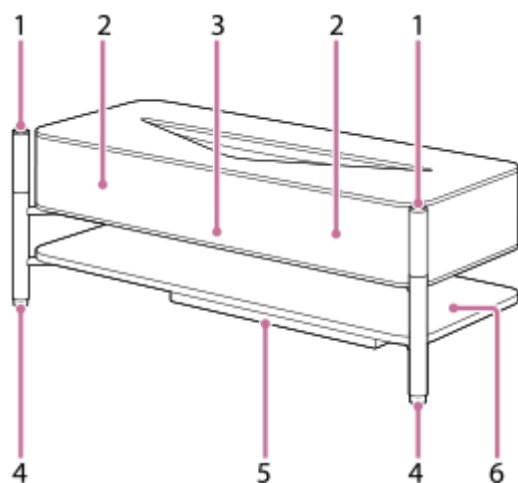
- クリーニングクロス (1)



- オーナーズガイド (1)
- リファレンスガイド (1)
- セットアップガイド (1)
- 保証書 (1)

各部の名前（プロジェクター）

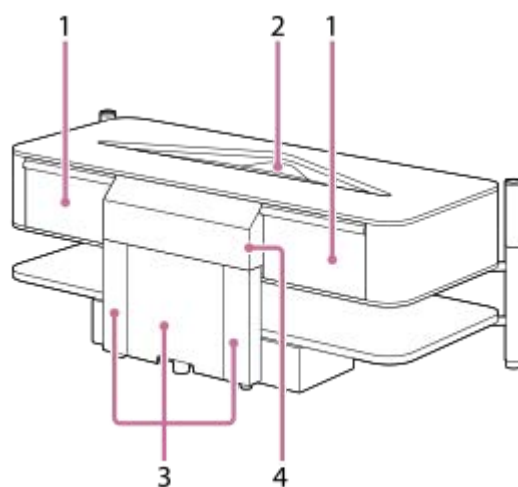
正面



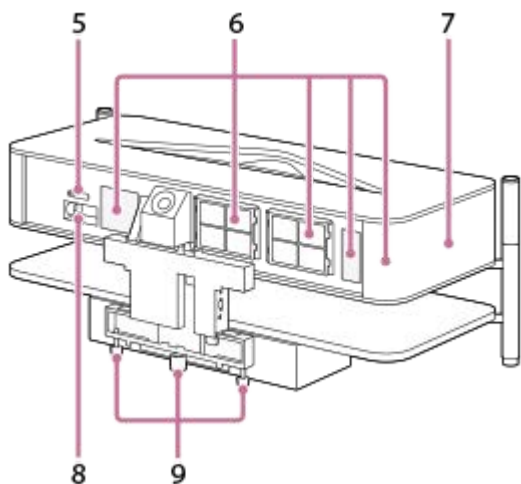
1. ツイーター
2. 排気口
3. ランプ
4. 脚部（調整可）
5. サブウーファー
6. 棚板

背面

カバーを取り付けた状態



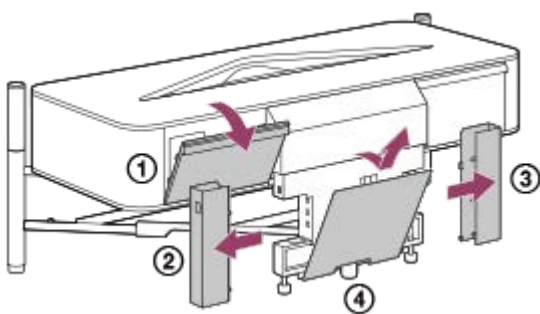
カバーを取り外した状態



1. メッシュカバー
2. 投写口
3. スタンドカバー
4. スピーカーカバー
5. サービス用端子
6. 吸気口／エアフィルター
7. 排気口
8. AC IN電源端子
9. 脚部（調整可）

背面のカバーの取り外しかた

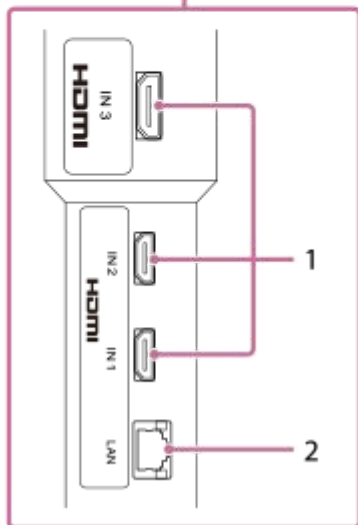
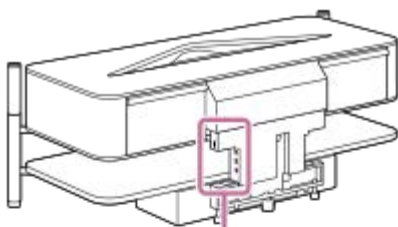
背面のメッシュカバーとスタンドカバー3つは①～④の順番で取り外してください。



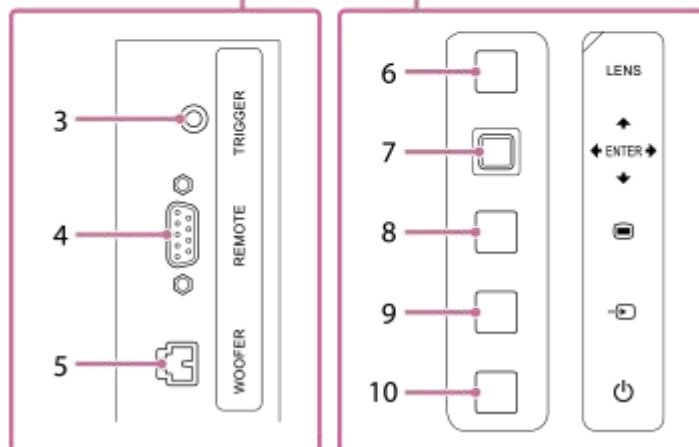
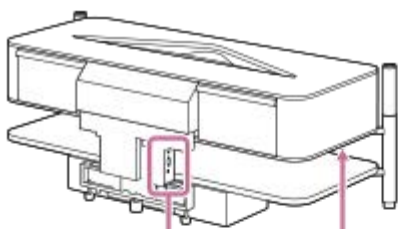
ご注意



- 中央のスタンドカバー（④）は手前に倒しすぎると内側のツメが破損することがありますのでご注意ください。
- スピーカーカバーと吸気口／エアフィルター側のメッシュカバーは、吸気口／エアフィルターを掃除するときに取り外します。

外部機器接続端子／操作ボタン



1. HDMI IN 1 端子、HDMI IN 2端子、HDMI IN 3端子
2. LAN 端子



3. TRIGGER 端子
4. REMOTE 端子
5. WOOFER 端子
6. LENS ボタン
7. コントロールキー（上／下／左／右）、ENTER（決定）ボタン
8. （メニュー）ボタン
9. （入力切替）ボタン

10. ㊤（電源）ボタン

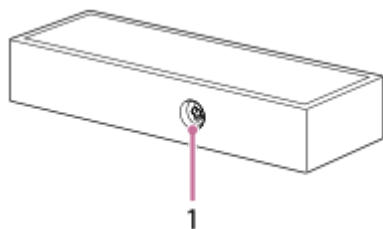
関連項目

- [エアーフィルターを掃除する](#)

4-732-089-01(1) Copyright 2018 Sony Corporation

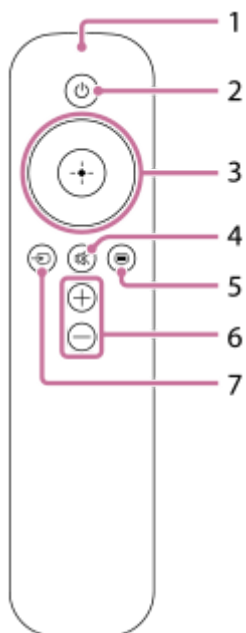
ビデオプロジェクター
LSPX-A1

各部の名前（サブウーファー）



1. サブウーファー用ケーブル接続端子（+/-）

各部の名前（リモコン）



1. ランプ
電池残量が少なくなると、ランプがオレンジ色に点滅します。
2. ㊤（電源）ボタン
3. コントロールキー（上／下／左／右）、⬇️（決定）ボタン
4. ㊤（消音）ボタン
5. ㊤（メニュー）ボタン
6. +/-（音量）ボタン
7. ➡️（入力切替）ボタン

設置についてのご注意

ご注意

- プロジェクターの設置には確実な作業が必要です。販売店や工事店に依頼して設置することをおすすめしますが、お客様ご自身で設置される場合は、安全性に充分考慮し、「セットアップガイド」（付属）の手順に従って、確実な設置を行ってください。
- 設置に関するご注意は、「リファレンスガイド（安全にお使いいただくために）」（付属）もご覧ください。

設置時には特に以下にご注意ください。

- 丁寧にお取扱ってください。特にツイーター部分は壊れやすいため、ご注意ください。
- プロジェクターを持ち上げるときは、**必ず4人以上**で、**底面の持ち手部分**を両手でしっかりと持って持ち上げてください。



- プロジェクターを移動するときは、床を引きずらないでください。
- プロジェクターを移動するときは、ケーブル類を踏んだり足に引っ掛けたりしないよう、ご注意ください。
- プロジェクターやサブウーファーでケーブル類を踏まないよう、ご注意ください。
- メッシュカバーやスタンドカバーでケーブル類を挟み込まないよう、ご注意ください。

関連項目

- [設置／使用に適さない状態について](#)

設置の手順

プロジェクターの設置は、本機に付属の「セットアップガイド」の手順に従って行ってください。

「セットアップガイド」では、以下の順番で設置手順を説明しています。

1. プロジェクターを仮配置する
2. 背面のカバーを外す
3. 電源コードを接続する
4. サブウーファー用ケーブルを接続する
5. (必要に応じて) 12Vトリガー対応の機器や制御システム、LANケーブルを接続する
6. カバーを取り付ける
7. 投写する壁と平行にプロジェクターを配置する
8. 電源コードをコンセントに接続する
9. 電源を入れる
10. 表示言語を設定する
11. 投写サイズを調整する
12. レンズフォーカスを調整する
13. 画面の傾きを調整する
14. レンズシフト/レンズズームを調整する
15. 電源を切り、電源コードをコンセントから抜く
16. サブウーファーを設置する
17. 棚板を取り付ける
18. HDMI機器を接続する
19. ツイーターを取り付ける
20. 電源コードをつなぎ、電源を入れる

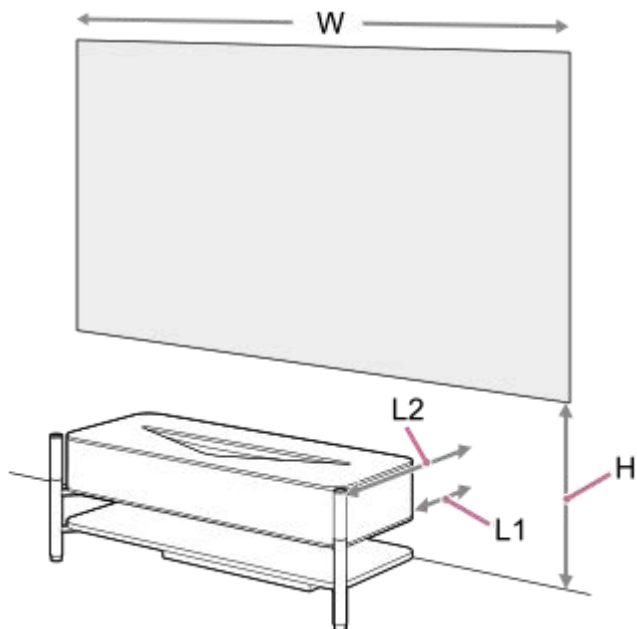
ご注意

- プロジェクターの設置には確実な作業が必要です。販売店や工事店に依頼して設置することをおすすめしますが、お客様ご自身で設置される場合は、安全性に充分考慮し、「セットアップガイド」の手順に従って、確実な設置を行ってください。

関連項目

- [設置／使用に適さない状態について](#)

設置距離と画面サイズ



L1：投写面からプロジェクター背面までの距離（＊1）

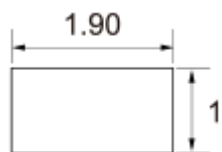
L2：投写面からプロジェクター正面までの距離

H：設置面から画面下端までの距離

W：画面の横サイズ

＊1 この場合の「背面までの距離」とは、プロジェクター背面のリアスタンド部ではなく、プロジェクターの天面の位置までの距離を指しています。

1.90:1（ネイティブフル表示17:9）投写時



画面サイズ			設置距離		画面シフト調整量		画面サイズ調整量	
対角 D	横×縦	H	L1	L2	水平方向	垂直方向	水平方向	垂直方向
89型	2.01 m × 1.06 m	64.9 cm	6.1 cm	54.6 cm	+/- 5.6 cm	+/- 6.3 cm	+/- 2.0 cm	+/- 1.1 cm
95型	2.13 m × 1.12 m	66.3 cm	8.7 cm	57.2 cm	+/- 6.0 cm	+/- 6.7 cm	+/- 2.1 cm	+/- 1.1 cm
105型	2.36 m × 1.24 m	69.2 cm	14 cm	62.5 cm	+/- 6.6 cm	+/- 7.5 cm	+/- 2.4 cm	+/- 1.2 cm
116型	2.60 m × 1.37 m	72.1 cm	19.2 cm	67.7 cm	+/- 7.3 cm	+/- 8.2 cm	+/- 2.6 cm	+/- 1.4 cm
126型	2.84 m × 1.49 m	74.9 cm	24.5 cm	73.0 cm	+/- 8.0 cm	+/- 9.0 cm	+/- 2.8 cm	+/- 1.5 cm

計算式1（画面サイズから設置距離を算出）

（単位：cm）

画面サイズ
$L1 = 0.2219 \times W - 38.4398$
$L2 = 0.2219 \times W + 10.0602$

計算式2（設置距離から画面サイズを算出）

（単位：cm）

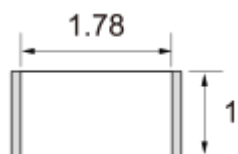
投写面から背面部
$W = 4.5069 \times L1 + 173.25195$

計算式3（設置面から投写画面下端までの距離を算出）

（単位：cm）

画面サイズ
$H = 0.1213 \times W + 40.5322$

1.78:1（16:9）投写時



- ：映像表示エリア
 ■：投影エリア

画面サイズ			設置距離		画面シフト調整量		画面サイズ調整量	
対角 D	横×縦	H	L1	L2	水平方向	垂直方向	水平方向	垂直方向
85型	1.88 m × 1.06 m	64.9 cm	6.1 cm	54.6 cm	+/- 5.6 cm	+/- 6.3 cm	+/- 1.9 cm	+/- 1.1 cm
90型	1.99 m × 1.12 m	66.3 cm	8.7 cm	57.2 cm	+/- 6.0 cm	+/- 6.7 cm	+/- 2.0 cm	+/- 1.1 cm
100型	2.22 m × 1.24 m	69.2 cm	14 cm	62.5 cm	+/- 6.6 cm	+/- 7.5 cm	+/- 2.2 cm	+/- 1.2 cm
110型	2.44 m × 1.37 m	72.1 cm	19.2 cm	67.7 cm	+/- 7.3 cm	+/- 8.2 cm	+/- 2.4 cm	+/- 1.4 cm
120型	2.66 m × 1.49 m	74.9 cm	24.5 cm	73.0 cm	+/- 8.0 cm	+/- 9.0 cm	+/- 2.7 cm	+/- 1.5 cm

計算式1（画面サイズから設置距離を算出）

（単位：cm）

画面サイズ
$L1 = 0.2368 \times W - 38.4638$
$L2 = 0.2368 \times W + 10.0362$

計算式2（設置距離から画面サイズを算出）

（単位：cm）

投写面から背面部
$W = 4.2226 \times L1 + 162.4247$

計算式3（設置面から投写画面下端までの距離を算出）

（単位：cm）

画面サイズ
$H = 0.1295 \times W + 40.5190$

投写サイズを調整する

プロジェクターを移動したときなど、投写する画面サイズを再調整する場合は、メニュー画面を投写して調整してください。

ご注意

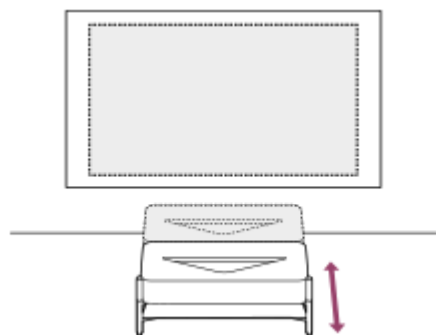
- 投写サイズを変更するなど、設置／接続後にプロジェクターを動かすときは、以下の点に充分にご注意ください。
 - ― 必ず4人以上で、底面の持ち手部分をしっかりと持って持ち上げる。
 - ― 絶対にツイーターを持たない。
 - ― サブウーファーを引きずらない。
 - ― HDMI機器が棚板から落ちないように注意する。
 - ― ケーブル類を踏んだり、足に引っ掛けたりしないように注意する。

1 [メニュー] - [設置設定] - [レンズズーム] を選ぶ。

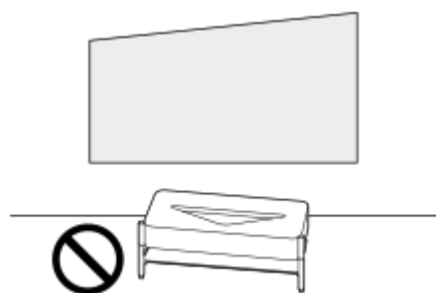
レンズズーム調整画面が表示されます。

2 画面を確認しながらプロジェクターを壁に対して前後に移動する。

画面の上辺と下辺が平行になるように、投写面に対してプロジェクターを平行に設置してください。



平行になっていないと、画面がゆがみます。



ご注意

- プロジェクターと壁の間には、6.1 cm以上の空間を設けてください。
- プロジェクターの左右側面には、10 cm以上の空間を設けてください。
- このヘルプガイドに掲載しているイラストの画面縮尺は説明上のイメージです。正確な縮尺ではありません。

ヒント

- 壁までの距離（投写距離）と投写される映像の大きさ（画面サイズ）についてもご確認ください。

関連項目

- [メニューを操作する](#)
- [設置距離と画面サイズ](#)

4-732-089-01(1) Copyright 2018 Sony Corporation

画面の傾きを調整する

プロジェクターを移動したときなど、プロジェクターの高さや画面の傾きを調整する場合は、脚部調整工具（付属）を使って脚部を回し、調整を行います。脚部調整工具を脚部の奥までしっかりと押し込み、高さを調整してください。メニュー画面を投写して調整してください。

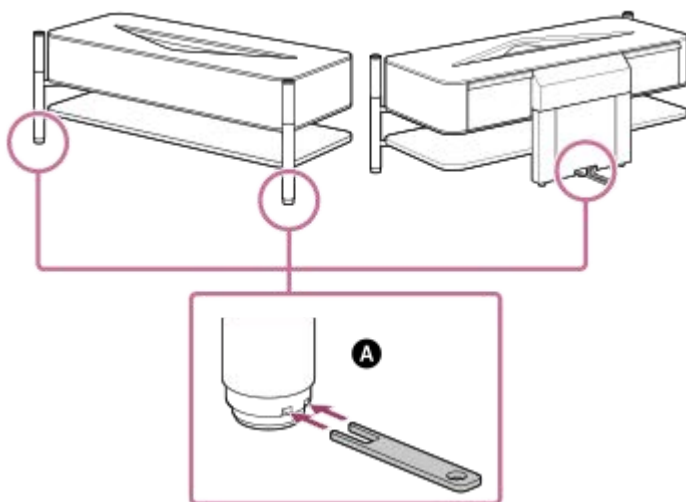
ご注意

- 投写サイズを変更するなど、設置／接続後にプロジェクターを動かすときは、以下の点に充分にご注意ください。
 - ― 必ず4人以上で、底面の持ち手部分をしっかりと持って持ち上げる。
 - ― 絶対にツイーターを持たない。
 - ― サブウーファーを引きずらない。
 - ― HDMI機器が棚板から落ちないように注意する。
 - ― ケーブル類を踏んだり、足に引っ掛けたりしないように注意する。

- 1  (メニュー) -  [設置設定] - [レンズ ズーム] を選ぶ。

レンズズーム調整画面が表示されます。

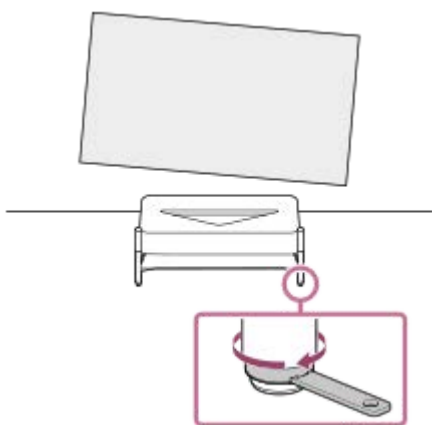
- 2 脚部（調整可）（**A**）を回して、左右および前後の傾きを調整する。



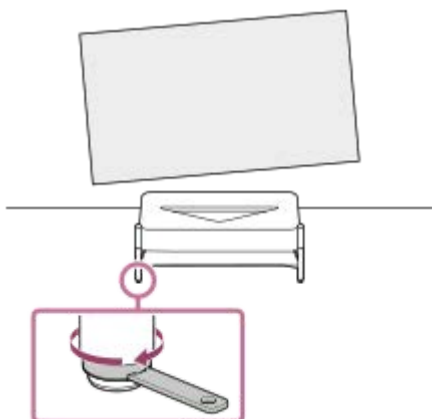
お買い上げ時の脚部の高さは、リアスタンド側がフロントスタンド側よりも高く調整されています。フロントスタンド側2か所の高さを上げて投写画面を調整してください。

画面の下辺を水平にするには

フロントスタンドの脚部を回し、左右の傾きを調整します。
投写画面が右に傾いている場合は、右脚を高くします。



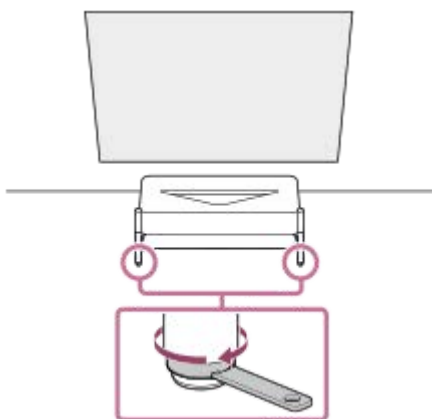
投写画面が左に傾いている場合は、左脚を高くします。



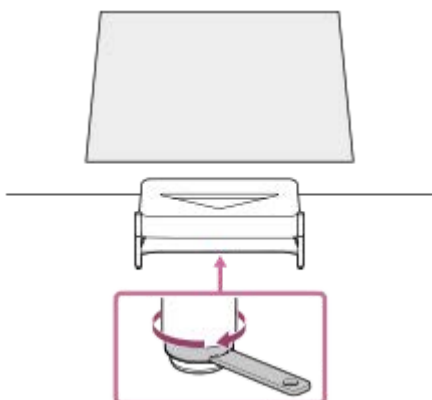
画面の左右の辺を垂直にするには

フロントスタンドの脚部を回し、前後の傾きを調整します。

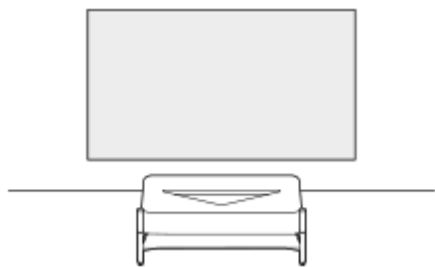
投写画面の上辺が広い場合は、両脚を高くします。



投写画面の下辺が広くなる場合は、リアスタンドの脚部を回して調整してください。必要に応じて、フロントスタンドの脚部も回して傾きを微調整してください。

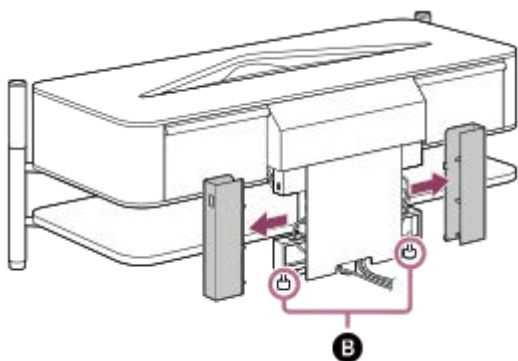


投写画面の枠が長方形で、床と並行になっていれば、調整は完了です。



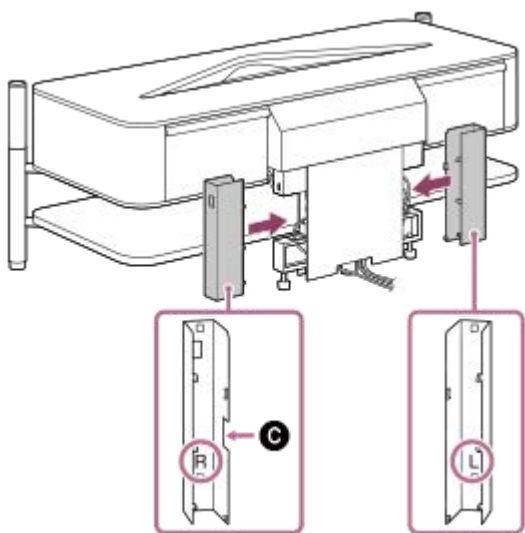
- 3** 左右のスタンドカバーを取り外し、リアスタンドのガタツキ防止脚部（2か所）（**B**）を手で回して接地させ、固定する。

ガタツキ防止用脚部を回し過ぎないようにしてください。回し過ぎるとプロジェクターの高さが変わり、画面がゆがむ恐れがあります。



- 4** 左右のスタンドカバー（L/R）を取り付ける。

HDMIケーブルはスタンドカバー（R）の切り欠き（**C**）に通してください。



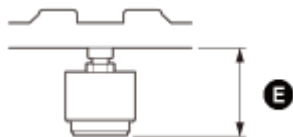
フロントスタンドの脚部について

フロントスタンドの脚部の高さは、脚部とフロントスタンドの間にできる隙間（**D**）を目安に調整してください。図のように隙間が見えたら、これより高く脚部を伸ばさないでください。



リアスタンドの脚部について

リアスタンドの脚部の高さの調整範囲は最大15 mmです。脚部の高さ（**E**）が71 mm以上になると脚が外れて機器が傾き、けがの原因となることがあります。



ご注意

- 脚部およびガタツキ防止用脚部を回すときは、手を挟まないようご注意ください。
- スタンドカバーを取り付けるときは、ケーブルを挟み込まないようご注意ください。
- このヘルプガイドに掲載しているイラストの画面縮尺は説明上のイメージです。正確な縮尺ではありません。

ヒント

- 脚部を1回転させると、高さが約1.25 mm調整できます。
- ガタツキ防止用脚部は、リアスタンド底面の脚部の高さに合わせて高さを調整します。
- 画面の傾きを調整したことでフォーカスがずれた場合は、レンズフォーカスの調整を行ってください。

関連項目

- [各部の名前（プロジェクター）](#)
- [レンズ フォーカス](#)

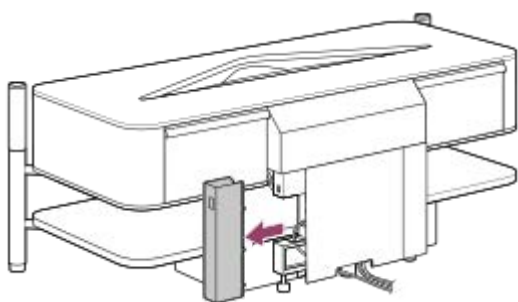
HDMI機器を接続する

HDMI入力端子はプロジェクター右側のスタンドカバー内に3つあります。HDMI IN 1端子およびHDMI IN 2端子に接続するときは、右側のスタンドカバーを取り外してください。
HDMI IN 3端子はスタンドカバーを取り外さずに接続できます。

接続するときの注意

- 各機器の電源を切った状態で接続してください。
- 接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものを選んでください。
- プラグはしっかり差し込んでください。不十分な接続は動作不良、画質不良の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 プロジェクター右側のスタンドカバー（R）を取り外す。



2 HDMI IN 1端子およびHDMI IN 2端子にHDMIケーブル（別売）を接続し、棚板の上に出す。

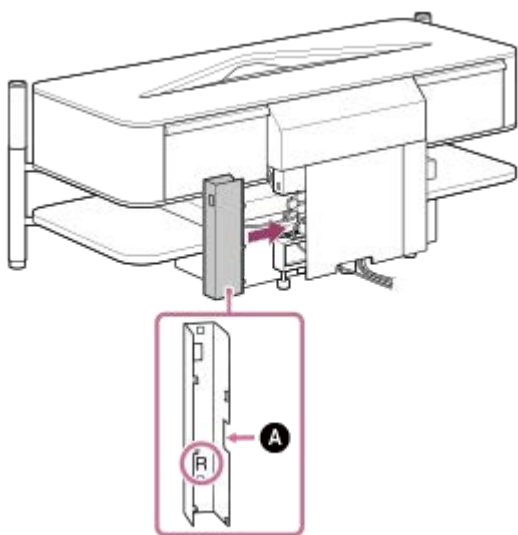
HDMI IN 3端子に接続する場合は、スタンドカバー（R）を取り付けてから接続します。



3 HDMIケーブルを接続機器のHDMI出力端子に接続し、機器を棚板の上に配置する。

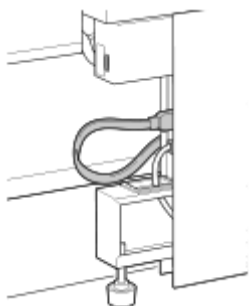
4 スタンドカバー（R）を取り付ける。

HDMIケーブルは、スタンドカバー（R）の切り欠き（A）に通してください。



HDMIケーブルの種類について

フラットタイプのHDMIケーブルなど、曲がりにくいケーブルを接続すると、スタンドカバーを取り付けられないことがありますのでご注意ください。



ご注意

- スタンドカバーを取り付ける際は、ケーブルを挟み込まないようにご注意ください。
- 棚板の耐荷重は12 kgまでです。それ以上の重さを棚板に乗せないでください。
- ゲーム機など消費電力が大きい機器を棚板に配置すると、機器からの放熱の影響により、プロジェクターのファンの回転数が高くなる場合があります。
- HDMI ケーブルは、ケーブルタイプロゴの明記された「High Speed」または「Premium High Speed」タイプをご使用ください。「Standard」タイプを使用すると、1080p、DeepColor、4K の映像が正しく表示できない場合があります。
- より高精細なHDMI フォーマットで映像を表示する場合は「Premium High Speed」タイプをご使用ください。
- HDMI ケーブルをつなぐ際は、プロジェクター側の端子とHDMIケーブルの向きを確認し、正しく接続してください。
- HDMI ケーブルでつないだ機器の映像が正しく映らない場合は、つないだ機器の設定を確認してください。
- ノート型のパソコンで、出力信号をパソコンの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に出力するように設定すると、プロジェクターに正しく映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターのみ信号が出力されるように、パソコンを設定してください。パソコンの設定については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [各部の名前（プロジェクター）](#)

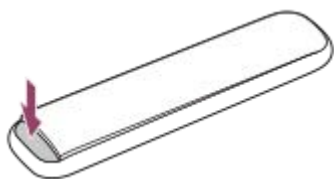
リモコンに電池を入れる

以下の手順でリモコンに単4形乾電池（付属）2本を入れてください。

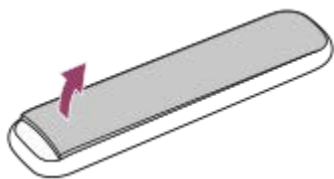
電池残量が少なくなると、リモコンのランプがオレンジ色に点滅します。リモコンで操作できなくなったら、乾電池を2本とも新しいものに交換してください。

1 リモコン裏側下部のボタンを押し込む。

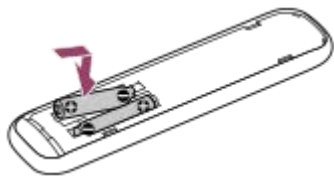
ふたが浮きます。



2 ふたを矢印の方向に持ち上げて、取り外す。

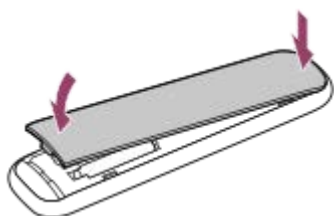


3 乾電池2本の+と-を確認し、正しい向きでリモコンに入れる。



4 ふたとリモコンの上部を合わせてカチッと音がするまで押し込んだあと、ふたの上部を手で押さえながら、下部を同様にリモコンに押し込む。

ふたがリモコンにはまります。



ご注意

- 極端に温度や湿度の高い場所にリモコンを放置しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、液もれや腐食を避けるために乾電池を取り出してください。

関連項目

- [リモコンで電源を入／切する](#)

4-732-089-01(1) Copyright 2018 Sony Corporation

ビデオプロジェクター
LSPX-A1



リモコンで電源を入／切する

リモコンでプロジェクターの電源を入れます。

1 リモコンの (電源) ボタンを押す。

プロジェクターのランプが点灯し、電源が入ります。



電源を切るには

1. リモコンの  (電源) ボタンを押す。
画面に「パワーオフしますか？」とメッセージが表示されます。
2. メッセージが表示されている間に、もう一度  (電源) ボタンを押す。
プロジェクターのランプが消灯します。

ご注意

- 電源コードを抜くときは、必ずプロジェクターの電源を切り、プロジェクターのランプが消えていることを確認してください。

ヒント

-  (電源) ボタンを約1秒長押ししても電源が切れます。
-  「[設置設定] メニューの「イルミネーション」が「切」に設定されている場合は、電源が入っていてもプロジェクターのランプは点灯しません。

関連項目

- [各部の名称 \(プロジェクター\)](#)
- [各部の名称 \(リモコン\)](#)
- [リモコンに電池を入れる](#)
- [イルミネーション](#)

映像を投写する

入力機器を選んで映像を投写します。

1 プロジェクターと接続したHDMI機器の電源を入れる。




2 リモコンの  (入力切替) ボタンを押す。

入力選択画面が表示されます。

3  (入力切替) ボタンを繰り返し押して、機器を選ぶ。

コントロールキー (上/下) と  (決定) ボタンでも選べます。
選んだ機器からの映像が投写されます。

ヒント

-  [初期設定] メニューの [画面表示] が [切] に設定されている場合は、入力選択画面は表示されません。  (入力切替) ボタンを押すと、順に入力端子が切り替わります。
- メニュー画面やメッセージなどの表示言語は、  [初期設定] メニューの [表示言語] で変更することができます。

関連項目

- [各部の名前 \(リモコン\)](#)
- [画面表示](#)
- [表示言語](#)


ビデオプロジェクター
LSPX-A1

音量を調節する

音量を調節します。ツイーター、ミッドレンジスピーカー、サブウーファーすべての音量が同時に調節されます。

- 1 リモコンの+または-ボタンを押す。

ヒント

-  [機能設定] メニューの [音量] でも音量を調節できます。


関連項目

- [各部の名前（リモコン）](#)
- [音量](#)


画質を調整する

使用する環境や映像に合わせて画質を調整できます。


プリセットされた設定を使う

 [画質設定] メニューの [ピクチャープリセット] から、あらかじめ登録されている設定を選んで最適な画質に調整できます。


超解像機能を使う

 [画質設定] メニューの [リアリティークリエーション] で、精細度とノイズ処理を調整してよりリアルな映像を表示できます。


黒レベルやコントラストを設定する

 [画質設定] メニューの [シネマブラックプロ] で、映像に合わせた明るさやコントラストを調整できます。

映像のなめらかさを設定する

 [画質設定] メニューの [モーションフロー] で、映像の動きをなめらかにしたり、オリジナルのフレームレートを再現したりできます。

お好みの画質に調整する

 [画質設定] メニューの以下の項目で、投写する映像のコントラストや色、鮮明さなどを詳細に調整できます。
[コントラスト] / [明るさ] / [色の濃さ] / [色あい] / [色温度] / [シャープネス]

関連項目

- [ピクチャープリセット](#)
- [リアリティークリエーション](#)
- [シネマブラックプロ](#)
- [モーションフロー](#)
- [コントラスト](#)
- [明るさ](#)
- [色の濃さ](#)
- [色あい](#)
- [色温度](#)
- [シャープネス](#)

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

音質を調整する

映像に合わせた音質に設定したり、DSEE HX機能の入／切を設定できます。

映像に合わせた音質に設定する

🔍 [機能設定] メニューの [音質モード] で、お好みの設定を選べます。機器を接続しているHDMI IN 1端子、HDMI IN 2端子、HDMI IN 3端子それぞれに設定できます。
[スタンダード] / [ミュージック] / [シアター]

DSEE HX機能を使う

DSEE HX機能は、圧縮音源をハイレゾ相当の高音質にアップスケーリングする機能です。


🔍 [機能設定] メニューの [DSEE HX] で設定できます。

関連項目

- [音質モード](#)
- [DSEE HX](#)

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

重低音レベルを調整する

 [機能設定] メニューの [サブウーファーレベル] で、サブウーファーの出力レベルを-10 ～ 0の間で設定して、重低音のレベルを調整できます。

関連項目

- [サブウーファーレベル](#)

メニューを操作する

プロジェクターの各種調整や設定は、メニュー画面で行います。項目名の後ろに矢印（▶）が付いた項目を選ぶと、次の階層に設定できる項目が表示されます。

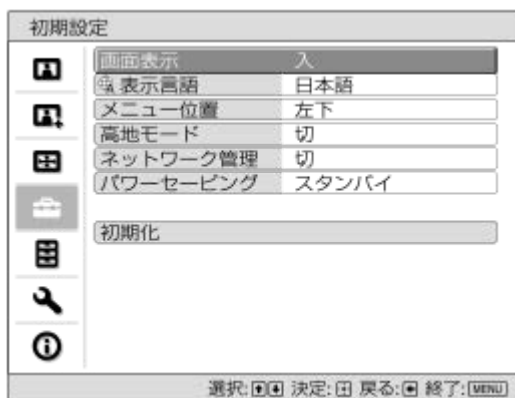
1 リモコンの （メニュー）ボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。



2 コントロールキー（上／下）を押してメニュー項目を選び、（決定）ボタンを押す。

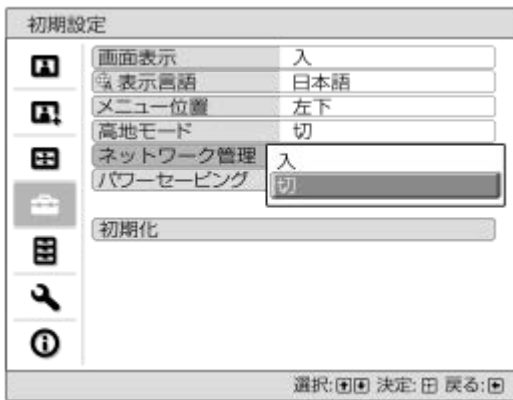
調整／設定できる項目が表示され、現在選ばれている項目がフォーカスされます。



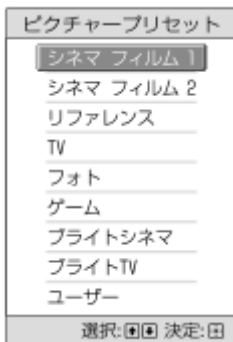
3 コントロールキー（上／下／左／右）を押してメニュー項目を選び、（決定）ボタンを押す。

ポップアップメニュー、設定メニュー、調整メニュー、または次の階層が表示され、項目を設定できます。

ポップアップメニュー



設定メニュー



調整メニュー



4 調整／設定する。

数値を変更する項目の場合

- 数値を大きくするには：コントロールキー（上）またはコントロールキー（右）を押します。
- 数値を小さくするには：コントロールキー（下）またはコントロールキー（左）を押します。

設定を変更する項目の場合

- コントロールキー（上）またはコントロールキー（下）を押して設定を選びます。

⊕（決定）ボタンを押すと、設定が確定し、元の画面に戻ります。
項目によってはコントロールキー（左）でも元の画面に戻ります。

メニュー画面を消すには

⏏（メニュー）ボタンを押します。

メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻すには

メニュー画面で項目を選び、ポップアップメニュー、設定メニュー、調整メニューを表示します。⏏（メニュー）ボタンを約10秒間押すと、その項目はお買い上げ時の状態に戻ります。

ピクチャープリセット

HDMI IN 1、HDMI IN 2、HDMI IN 3端子それぞれに入力されている映像に対して、使用する場所や映像ソースに合った画質を設定できます。

1  (メニュー) -  [画質設定] - [ピクチャープリセット] - 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

シネマ フィルム 1：

最高画質といわれるマスターポジフィルム（ダイナミックレンジの広い、透明感のある画質）を再現する設定です。

シネマ フィルム 2：

[シネマ フィルム 1] をベースにした、実際の映画館の映像美を再現する設定です。

リファレンス：

コンテンツの持つ画質そのものを忠実に再現したい場合や、調整のない素直な画質を楽しむのに適した設定です。

TV：

テレビ番組やスポーツ、コンサートなどのビデオ映像に適した設定です。

フォト：

デジタルカメラなどの静止画に適した設定です。

ゲーム：

ゲーム用にメリハリある色再現や応答性に優れた設定です。

ブライトシネマ：

リビングルームなどの明るい環境で、映画を見るのに適した設定です。


ブライトTV：

リビングルームなどの明るい環境で、テレビ番組やスポーツ、コンサートなどのビデオ映像を見るのに適した設定です。

ユーザー：

お好みに合わせた画質に調整、設定し、保存できます。お買い上げ時は[リファレンス]と同じ設定になっています。

標準に戻す

 [画質設定] メニューの [ピクチャープリセット] で現在選択している項目内の設定値を、お買い上げ時の設定に戻します。

以下のすべての設定値がお買い上げ時の設定に戻ります。

[リアリティークリエーション]、[シネマブラックプロ]、[モーションフロー]、[コントラスト]、[明るさ]、[色の濃さ]、[色あい]、[色温度]、[シャープネス]、[エキスパート設定]

- 1  (メニュー) -  [画質設定] - [標準に戻す] を選ぶ。

確認画面が表示されます。

- 2 コントロールキー (左) を押して [はい] を選び、 (決定) ボタンを押す。

ヒント

- [色温度] の [カスタム 1] ~ [カスタム 5] で調整した設定値は保持されます。

関連項目

- [ピクチャープリセット](#)
- [リアリティークリエーション](#)
- [シネマブラックプロ](#)
- [モーションフロー](#)
- [コントラスト](#)
- [明るさ](#)
- [色の濃さ](#)
- [色あい](#)
- [色温度](#)
- [シャープネス](#)
- [エキスパート設定](#)

リアリティークリエーション

精細度とノイズ処理を調整してリアルな映像にします。（超解像機能）

1 （メニュー） - 【画質設定】 - 【リアリティークリエーション】 - 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：


リアリティークリエーションの設定を変更できます。

- 【データベース】：【ノーマル】または【Mastered in 4K】を選びます。
【Mastered in 4K】は、ソニー・ピクチャーズエンタテインメント製のBlu-ray Disc™（Mastered in 4K）に適した映像になります。
- 【精細度】：設定値を上げると、質感やディテール感が向上し、鮮鋭感のある映像になります。
- 【ノイズ処理】：設定値を上げると、ざらつきなどのノイズが目立たなくなります。
- 【入/切 比較】：【入】、【切】が一定周期で切り替わり、リアリティークリエーションの効果を確認することができます。

切：

リアリティークリエーション機能をオフにします。

ヒント


- 比較中のステータスの表示位置は 【初期設定】メニューの【メニュー位置】の設定に連動します。

関連項目

- [メニュー位置](#)

シネマブラックプロ

レーザーライトの可動範囲や明るさを変更したり、コントラストの自動補正の設定をしたりします。

- 1  (メニュー) -  [画質設定] - [シネマブラックプロ] - 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

レーザーライト設定：

- [ダイナミックコントロール]：レーザー調光の可動範囲を変更できます。
 - － [フル]：入力ソースの輝度レベルに応じてレーザー調光と信号処理を自動で調整して光量を最適化します。明るく、高コントラストで力強い映像になります。
 - － [リミテッド]：[フル]よりレーザー調光の動きや明るさを抑え、暗室での視聴に適した設定になります。
 - － [切]：ダイナミックコントロール機能をオフにします。
- [出力]：設定値を大きくすると明るくなり、小さくすると暗くなります。

コントラストエンハンサー：

シーンに応じた最適なコントラストが得られるよう、明部・暗部のレベルを自動的に補正します。映像のメリハリが増し、躍動感のある映像になります。



- [強]、[中]、[弱]：コントラストエンハンサーの効果を変更できます。
- [切]：コントラストエンハンサー機能をオフにします。

ヒント

- [レーザーライト設定] は、視聴する映像の明るさや部屋の明るさに応じて [出力] を調整し、お好みに合わせて [ダイナミックコントロール] の設定を選択してください。

モーションフロー

映像の動きのなめらかさを設定します。

- 1  (メニュー) -  [画質設定] - [モーションフロー] - 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

スムーズ 強：

動きをなめらかにします。特に映画などに効果的です。

スムーズ 弱：

動きが標準的ななめらかさの映像にします。

True Cinema：

毎秒24フレームで作成されたムービーなどの画像をオリジナルのフレームレートで再現します。

切：

モーションフロー機能をオフにします。



ヒント

- [スムーズ 強] や [スムーズ 弱]、[True Cinema] を設定して画乱れなどが発生する場合は、この設定を [切] にしてください。
- 映像により、設定を変更しても効果が表れない場合があります。
- 解像度4096 × 2160の信号入力時は、[切] に固定されます。

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

コントラスト

映像のコントラストを調整します。

- 1  (メニュー) -  [画質設定] - [コントラスト] - 数値を調整する。

設定値を大きくすると映像のメリハリが強くなり、小さくすると弱くなります。

ヒント

- [エキスパート設定] の [HDR] が [HDR10] 、 [HLG] 、または [オート] でHDR信号が入力されたとき、表示は [コントラスト(HDR)] になります。

関連項目

- [エキスパート設定](#)

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

明るさ

映像の明るさ（輝度）を調整します。

- 1 （メニュー） - 【画質設定】 - 【明るさ】 - 数値を調整する。

設定値を大きくすると明るくなり、小さくすると暗くなります。

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

色の濃さ

色の濃さを調整します。

- 1  (メニュー) -  [画質設定] - [色の濃さ] - 数値を調整する。

設定値を大きくすると濃くなり、小さくすると薄くなります。

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

色あい

色の濃さを調整します。

- 1  (メニュー) -  [画質設定] - [色あい] - 数値を調整する。

設定値を大きくすると緑がかり、小さくすると赤みがかります。

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

色温度

色温度を調整します。

- ①  (メニュー) -  [画質設定] - [色温度] - 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

D93 :

一部のテレビで標準的に用いられる9,300 K相当の色温度です。白い部分が青みがかった冷たい色調になります。

D75 :

補助標準光とされる7,500 K相当の色温度です。[D93] と [D65] の中間の色調になります。

D65 :

標準光とされる6,500 K相当の色温度です。白い部分が赤みがかった暖かい色調になります。

D55 :

補助標準光とされる5,500 K相当の色温度です。白い部分がさらに赤みがかった暖かい色調になります。

カスタム 1 ～ カスタム 5 :



好みに合わせた色温度を調整、設定、保存できます。お買い上げ時は、以下のように設定されています。

- [カスタム 1] : [D93] と同じ設定
- [カスタム 2] : [D75] と同じ設定
- [カスタム 3] : [D65] と同じ設定
- [カスタム 4] : [D55] と同じ設定
- [カスタム 5] : 明るさを優先した設定

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

シャープネス



映像の輪郭をくっきりさせたり、ノイズを目立たなくします。

- 1  (メニュー) -  [画質設定] - [シャープネス] - 数値を調整する。

設定値を大きくすると輪郭がくっきりし、小さくすると輪郭がなめらかになりノイズを目立たなくします。

エキスパート設定

使用する場所や映像ソースに合った画質を選ぶことができます。

- ①  (メニュー) -  [画質設定] - [エキスパート設定] - 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

NR (ノイズリダクション) :

映像のざらつきやノイズを軽減します。

- [オート] : 入力ソースのノイズレベルを検出し、自動でざらつきやノイズを軽減します。
- [強]、[中]、[弱] : 入力ソースのざらつきやノイズに応じて選択してください。
- [切] : NR (ノイズリダクション) 機能をオフにします。

MPEG NR (MPEGノイズリダクション) :

デジタル特有のブロックノイズやモスキートノイズを軽減します。

- [オート] : 入力ソースのノイズレベルを検出し、自動でブロックノイズやモスキートノイズを軽減します。
- [強]、[中]、[弱] : 入力ソースのブロックノイズやモスキートノイズに応じて選択してください。
- [切] : MPEG NR (MPEGノイズリダクション) 機能をオフにします。

スムースグラデーション :

映像の平坦部のグラデーションをなめらかにします。

- [強]、[中]、[弱] : スムースグラデーションの効果を変更できます。
- [切] : スムースグラデーション機能をオフにします。

フィルムモード :

映像の素材に合わせて、再生する方法を設定します。

- [オート] : 映像の素材を自動検出し、最適な再生を行います。映像が映画などフィルム素材の場合は、フィルム本来の動きを再現します。通常は [オート] のままお使いください。
- [切] : 映像の素材を自動検出せず、プログレッシブ再生のみ行います。

ガンマ補正 :

補正映像の階調の応答特性を設定します。好みに合わせて10通りの階調の中から選択できます。

- [1.8] [2.0] [2.1] [2.2] [2.4] [2.6] : 数値が低いほうが全体的に明るい映像になり、数値が上がるほど暗い映像になります。
- [ガンマ 7] : 暗部を引き締めたメリハリのある画質になります。
- [ガンマ 8] : [ガンマ 7] をより明るくした画質になります。リビングルームなどの少し明るめの環境でご覧になる場合に選択してください。
- [ガンマ 9] : [ガンマ 8] をより明るくした画質になります。
- [ガンマ 10] : メリハリのある画質になります。リビングルームなどの少し明るめの環境でテレビ番組などをご覧になる場合に選択してください。
- [切] : ガンマ補正機能をオフにします。

カラーコレクション :

- [入] : 選択した色の色合い、色の濃さ、明るさを調整します。下記の1、2を繰り返して調整したい色を決めます。
 1. コントロールキー (上/下) で [色選択:] を選び、コントロールキー (左/右) で、調整したい色を [赤]、[黄]、[緑]、[シアン]、[青]、[マゼンタ] から選ぶ。



2. コントロールキー（上／下）で「色合い:」、「色の濃さ:」または「明るさ:」を選び、投影画面を見ながらコントロールキー（左／右）でお好みの色になるように調整する。

- 「切」：カラーコレクション機能をオフにします。

クリアホワイト：

お好みに合わせて、白の鮮明さを強調できます。

- 「強」、「弱」：クリアホワイト機能の効果を変更できます。
- 「切」：クリアホワイト機能をオフにします。

x.v.Color：

x.v.Colorに対応した機器を接続し、x.v.Color映像信号を再生する場合に設定します。

- 「入」：x.v.Color 映像信号を再生できます。
- 「切」：x.v.Color機能をオフにします。

HDR：

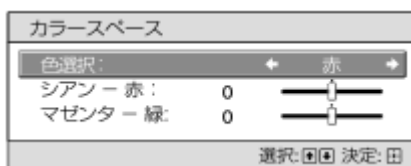
HDRコンテンツを再生する方法を設定します。

- 「オート」：自動でHDRコンテンツを判別して最適な画質設定にします。信号がBT.2020に対応しているとき、「カラースペース」は自動で「BT.2020」に設定されます。「BT.2020」以外の信号のときは「カラースペース」で設定したモードに設定されます。（このとき「BT.2020」は選択できません。）
- 「HDR10」：HDR10規格に準拠したコンテンツを再生する場合に設定します。
- 「HLG」：HLG規格に準拠したコンテンツを再生する場合に設定します。
- 「切」：HDRコンテンツ以外を再生する場合に設定します。

カラースペース：

色空間を切り替えます。

- 「BT.709」：ハイビジョン放送やブルーレイディスクに用いられるHDTV規格ITU-R BT.709の色空間です。sRGBと同等の色空間となります。
- 「BT.2020」：HDRコンテンツなどのBT.2020を用いた映像再生時に適した色空間です。
- 「カラースペース 1」：テレビ番組やスポーツ、コンサートなどのビデオ映像に適した色空間です。
- 「カラースペース 2」：リビングルームなどの明るい環境で、テレビ番組やスポーツ、コンサートなどのビデオ映像を見るのに適した色空間です。
- 「カラースペース 3」：リビングルームなどの明るい環境で、映画を見るのに適した色空間です。
- 「カスタム」：お好みの色空間に調整できます。



遅延低減：

映像の表示遅延を低減します。

- 「入」：入力された映像が表示されるまでの時間を短縮します。外部コントローラーの使用時など、動作に対する表示の反応を速めたいときに効果があります。
- 「切」：遅延低減機能をオフにします。

ご注意

- 「NR」と「MPEG NR」は、入力ソースによっては、「オート」でノイズレベルを正しく検出できない場合があります。「オート」で映像に違和感がある場合は、「強」、「中」、「弱」、「切」の中から好みに応じて選択してください。
- 「フィルムモード」は1080i信号でのみ有効です。
- x.v.Colorが「入」のときは、「ガンマ補正」は調整できません。

- [HDR] を設定する場合、入力したコンテンツに対して設定が合っていないと、明るい部分や暗い部分の映像が明るくなりすぎたり暗くなりすぎたりします。
- [遅延低減] が [入] のときは、[モーションフロー]、[NR]、[MPEG NR] は設定できません。

ヒント

- [HDR] を [オート] に設定した場合、信号の種類によって選択できる [カラースペース] 設定が変わります。[HDR] が [HDR10]、[HLG] または [切] のときは、[カラースペース] は全モード選択可能です。

4-732-089-01(1) Copyright 2018 Sony Corporation

オートキャリブレーション

プロジェクターを長時間使用することで発生する色の変化（ズレ）を補正することができます。

- ① （メニュー） - 【画質詳細設定】 - 【オートキャリブレーション】 - 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

プリチェック：

キャリブレーションの前に、お買い上げ時からの色差をチェックします。

調整：

オートキャリブレーションを実行します。

ビフォー/アフター：

お買い上げ時の設定とキャリブレーション後の設定が一定の周期で切り替わり、実際の映像を見ながらキャリブレーションの効果を確認できます。

リセット：

キャリブレーション結果がリセットされ、お買い上げ時の設定に戻ります。

ご注意

- この機能は簡易的なキャリブレーション機能です。この機能により、必ずしもお買い上げ時と同じ色になることを保証するものではありません。
- 【プリチェック】や【調整】の実行中は、自動的に各色が投影されますが異常ではありません。
- 【プリチェック】や【調整】の実行中は、電源を切ったりリモコンやプロジェクターのボタンを操作すると【プリチェック】や【調整】がキャンセルされますのでご注意ください。

ヒント

- dEは色の変化を表す指標です。dEが小さいほど色の変化が少ないことを示しています。
- 【オートキャリブレーション】は、プロジェクターの電源を入れたあと30分以上経ってから実行してください。
- 【プリチェック】や【調整】を実行すると終了するまでに数分かかります。
- 【プリチェック】や【調整】を実行すると、レンズがお買い上げ時の位置に自動的に戻るため、画面の位置が動く場合があります。終了後に画面は元の位置に自動的に戻ります。
- 【プリチェック】や【調整】の実行中に、部屋の明るさなど外部環境を変えると適切な結果が得られないことがあります。
- 【プリチェック】や【調整】は失敗することがあります。そのときはもう一度実行してください。
- この機能はホワイトバランスのみを調整します。

アスペクト

入力信号に対して、どのような縦横比の映像を投影するかを設定します。

- ①  (メニュー) -  [スクリーン設定] - [アスペクト] - 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

1.85:1 ズーム :

1.85:1映像の上下の黒帯が表示されないように縦横比を維持したまま画面いっぱいに映します。

2.35:1 ズーム :

2.35:1映像の上下の黒帯の表示範囲が小さくなるように縦横比を維持したまま画面いっぱいに映します。

ノーマル :

入力映像の縦横比を維持したまま画面いっぱいに映します。1.78:1 (16:9) 、1.33:1 (4:3) 映像におすすめの設定です。

ストレッチ :

1.33:1 (4:3) にスクイーズされた映像を1.78:1 (16:9) の縦横比で映します。

ご注意

- テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択すると、オリジナルの映像と見えかたに差が出ます。この点にご注意してアスペクトを選択してください。
- 営利目的、また公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、アスペクト切り替え機能などを利用して、面積の分割表示や圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- 入力信号によって、選択できる項目が異なります。
- コンピューター信号入力時および解像度4096 × 2160信号入力時は、アスペクトは選択できません。

関連項目

- [入力信号と調整／設定項目](#)
- [アスペクトモード](#)

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

ブランキング

画面の上下左右の表示領域を調整します。

- 1 (メニュー) - [スクリーン設定] - [ブランキング] - 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：
コントロールキー（上／下）を押して変更したい画面の辺を [左:]、[右:]、[上:]、[下:] の中から選択します。
コントロールキー（左／右）を押してブランキング量を調整します。



切：
ブランキング機能をオフにします。

ヒント

- アスペクト設定によっては、左右にブランキングがかからない場合があります。

関連項目

- [アスペクト](#)

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

イメージシフト

画面の上下左右の表示位置を調整します。

①  (メニュー) -  [スクリーン設定] - [イメージシフト] - 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

[H] (水平)：数値が大きくなると映像が右に、小さくなると左に移動します。

[V] (垂直)：数値が大きくなると映像が上に、小さくなると下に移動します。

切：

イメージシフト機能をオフにします。

画面表示

メニューやメッセージの表示／非表示を設定します。

1  (メニュー) -  [初期設定] - [画面表示] - 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

- 入：**
メニューやメッセージを表示します。
- 切：**
一部のメニュー表示、電源を切るときの確認メッセージが表示され、警告メッセージ以外の画面が表示されなくなります。
- 全切：**
一部のメニュー表示、電源を切るときの確認メッセージ以外の画面が表示されなくなります。

ご注意

- [全切] を選択した場合は、温度の警告メッセージは表示されません。お客様の責任でご使用ください。
- [全切] を選択したことによって発生した事故や機器の故障に対して、補償は一切いたしませんのであらかじめご了承ください。

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

表示言語



メニューやメッセージなどの表示言語を設定します。

- 1  (メニュー) -  [初期設定] - [表示言語] - 希望の言語を選ぶ。

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

メニュー位置

画面上のメニューの表示位置を変更できます。

①  (メニュー) -  [初期設定] - [メニュー位置] - 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

左下：

メニューを画面の左下に表示します。

中央：

メニューを画面の中央に表示します。

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

高地モード

お使いになる場所の気圧に応じて設定します。

- 1  (メニュー) -  [初期設定] - [高地モード] - 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

1,500 m以上の高地で使用する場合に設定します。

切：



平地での使用時に設定します。

ご注意

- 設定を「入」にした場合、ファンの回転数が上がるため、ファンの音が大きくなります。

ネットワーク管理

プロジェクター制御機器との通信を常時行うときに設定します。

- ①  (メニュー) -  [初期設定] - [ネットワーク管理] - 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

ネットワーク接続されている環境で、プロジェクター制御機器との通信を常時行うときに設定します。

切：

ネットワーク管理機能を無効にします。



ご注意

- [ネットワーク管理] を [入] にするとネットワーク機能が常時有効になります。通常は [切] のまま利用してください。
[入] に設定した場合、消費電力が増加します。

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

パワーセービング

パワーセービング（節電モード）の設定を行います。

- ① （メニュー） - 【初期設定】 - 【パワーセービング】 - 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

スタンバイ：

プロジェクターに信号が入力されない状態が10分以上続くと自動的に電源が切れ、スタンバイ状態になります。

切：

パワーセービング機能を無効にします。

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

初期化



プロジェクターのメニュー設定およびリモート接続された機器からの調整データを、すべてお買い上げ時の設定に戻します。

- 1  (メニュー) -  [初期設定] - [初期化] を選ぶ。

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

ダイナミックレンジ

HDMI IN 1、HDMI IN 2、HDMI IN 3端子の映像入力レベルを設定します。

- 1  (メニュー) -  [機能設定] - [ダイナミックレンジ] - 設定する入力端子 (HDMI 1、HDMI 2、またはHDMI 3) - 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

オート：

自動で映像入力レベルを判別します。

リミテッド：

映像入力レベルが、16-235相当のときに設定します。

フル：



映像入力レベルが、0-255相当のときに設定します。

ご注意

- HDMI接続機器の映像出力設定が合っていないと、明るい部分や暗い部分の映像が明るくなりすぎたり暗くなりすぎたりします。

HDMI信号フォーマット

HDMI IN 1、HDMI IN 2、HDMI IN 3端子の映像信号フォーマットを切り替えます。

- 1  (メニュー) -  [機能設定] - [HDMI信号フォーマット] - 設定する入力端子 (HDMI 1、HDMI 2、またはHDMI 3) - 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

標準フォーマット：

標準的なHDMIフォーマットで映像を表示します。通常はこの設定をご使用ください。

拡張フォーマット：

より帯域の大きなHDMIフォーマットのときや、4K HDRの高解像度の映像を見るときは、この設定をご使用ください。

ご注意

- [拡張フォーマット] 選択時に映像や音声 that 正常に出力されないことがあります。その場合は [標準フォーマット] に設定してください。
- [拡張フォーマット] は対応機器を使用するときのみ設定してください。
- フォーマットを切り替えてから映像が表示されるまでに時間がかかることがあります。

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

テストパターン

レンズ調整時におけるテストパターン表示の有無を選択します。

①  (メニュー) -  [機能設定] - [テストパターン] - 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

「レンズ ズーム」、「レンズ フォーカス」、「レンズ シフト」の調整時に、テストパターンが表示されます。

切：

テストパターンが表示されません。

ヒント

- テストパターン表示時は、フォーカスが合わせやすいように緑単色の表示となります。

関連項目

- [レンズ ズーム](#)
- [レンズ フォーカス](#)
- [レンズ シフト](#)

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

セッティングロック

誤操作を防ぐために、メニューの調整、または設定項目をロックします。

- 1  (メニュー) -  [機能設定] - [セッティングロック] - 希望の設定を選ぶ。



メニュー項目の詳細

切：

セッティングロック機能を解除します。






レベル A：

以下の設定メニュー内の項目が非表示になり、操作ができなくなります。

-  [画質設定] ([ピクチャープリセット] を除く)
-  [画質詳細設定]

レベル B：

以下の設定メニュー内の項目が非表示になり、操作ができなくなります。

-  [画質設定] ([ピクチャープリセット] を除く)
-  [画質詳細設定]
-  [初期設定] ([初期化] を除く)
-  [機能設定] ([HDMI信号フォーマット]、[セッティングロック]、[音量]、[音質モード]、[サブウーファーレベル]、[DSEE HX]、[操作音] を除く)
-  [設置設定]

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

音量

音量を調整します。

- 1  (メニュー) -  [機能設定] - [音量] - 希望の音量に設定する。

お買い上げ時の音量は [30] に設定されています。



関連項目

- [音量を調節する](#)

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

音質モード

HDMI IN 1、HDMI IN 2、HDMI IN 3端子それぞれに入力されている音声に対して、個別に音質の種類を設定できます。

- 1  (メニュー) -  [機能設定] - [音質モード] - 設定する入力端子 (HDMI 1、HDMI 2、またはHDMI 3) - 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

スタンダード：

標準的な音質で再生します。

ミュージック：

音楽に最適な音質で再生します。

シアター：

映画に最適な音質で再生します。

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

サブウーファーレベル

サブウーファーの出力レベルを設定します。



- 1  (メニュー) -  [機能設定] - [サブウーファーレベル] - 希望の音量に設定する。

-10～0の間で設定できます。

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

DSEE HX

DSEE HXは、CDやMP3などの圧縮音源を高解像度にアップスケーリングすることによって、ハイレゾ・オーディオ相当の音質に向上させる機能です。失われがちな高音域をクリアに再現します。

①  (メニュー) -  [機能設定] - [DSEE HX] - 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

DSEE HX機能を使用します。

切：

DSEE HX機能を使用しません。

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

操作音

プロジェクターの操作音を設定します。

- ①  (メニュー) -  [機能設定] - [操作音] - 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

プロジェクター操作時に音が鳴ります。

切：

プロジェクター操作時に音が鳴りません。

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

レンズコントロール

レンズ関連の調整（[レンズ ズーム]、[レンズ フォーカス]、[レンズ シフト]）を誤って変更しないように設定します。

1 （メニュー） -  [設置設定] - [レンズコントロール] - 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：
レンズの調整ができます。

切：
レンズの調整ができません。




関連項目

- [レンズ ズーム](#)
- [レンズ フォーカス](#)
- [レンズ シフト](#)


ビデオプロジェクター
LSPX-A1

レンズ ズーム

画面の大きさを調節します。

- 1  (メニュー) -  [設置設定] - [レンズ ズーム] を選ぶ。
- 2 コントロールキー (上/下/左/右) を押して画面の大きさを合わせ、 (決定) ボタンを押して確定する。
コントロールキー (上) またはコントロールキー (右) を押すと、画面は大きくなります。
コントロールキー (下) またはコントロールキー (左) を押すと、画面は小さくなります。

ご注意




-  [設置設定] メニューの [レンズコントロール] が [切] に設定されている場合は、[レンズ ズーム] の調整ができません。

関連項目



- [レンズコントロール](#)

レンズ フォーカス

画面のピントを調節します。

- 1  (メニュー) -  [設置設定] - [レンズ フォーカス] を選ぶ。
- 2 コントロールキー (上/下/左/右) を押して画面のピントを合わせ、 (決定) ボタンを押して確定する。

ご注意

-  [設置設定] メニューの [レンズコントロール] が [切] に設定されている場合は、[レンズ フォーカス] の調整ができません。
-  [機能設定] メニューの [テストパターン] が [切] に設定されている場合は、パターン画面が表示されません。

ヒント

- お買い上げ時のフォーカスは100インチに調整されています。画面サイズや設置状況により微調整してください。
- 画面全体を見ながら調整してください。超短焦点プロジェクターでは、画面上部のピントの振れ幅が大きくなります。

関連項目

- [レンズコントロール](#)
- [テストパターン](#)

レンズ シフト

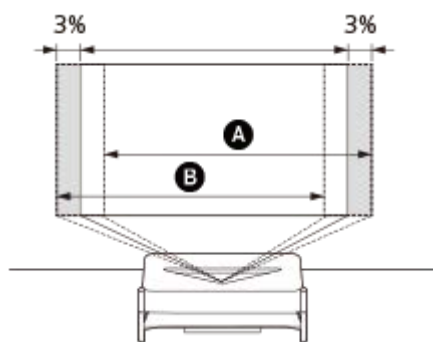
画面の位置を調節します。

- 1 (メニュー) - [設置設定] - [レンズ シフト] を選ぶ。
- 2 コントロールキー (上/下/左/右) を押して画面の位置を合わせ、 (決定) ボタンを押して確定する。

左右の位置を合わせるには

コントロールキー (左/右) を押すと、レンズの中心から左右それぞれに、画面幅の最大3% (*1) 分、投写画面を移動できます。

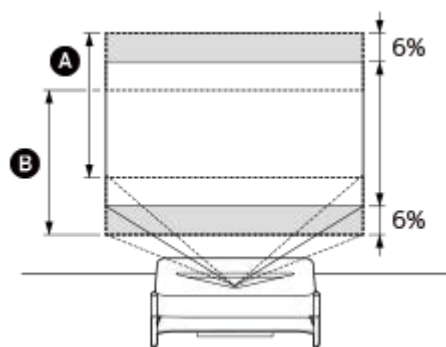
*1 17:9表示時の移動範囲は $\pm 2.8\%$ になります。



- A 右レンズシフトを最大にしたときの画面位置
- B 左レンズシフトを最大にしたときの画面位置

上下の位置を合わせるには

コントロールキー (上/下) を押すと、レンズの中心から上下それぞれに、画面高さの最大6%分、投写画面を移動できます。



- A 上レンズシフトを最大にしたときの画面位置
- B 下レンズシフトを最大にしたときの画面位置

ご注意

- [設置設定] メニューの [レンズコントロール] が [切] に設定されている場合は、[レンズ シフト] の調整ができません。
- このヘルプガイドに掲載しているイラストの画面縮尺は説明上のイメージです。正確な縮尺ではありません。

関連項目



- [レンズコントロール](#)

4-732-089-01(1) Copyright 2018 Sony Corporation

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

トリガー切替

TRIGGER端子の出力機能を切り替えます。TRIGGER端子に12Vトリガー機器などを接続する場合は、[電源]を選んでください。

- 1  (メニュー) -  [設置設定] - [トリガー切替] - 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

切：

トリガー端子の機能をオフにします。



電源：

プロジェクターの電源が入っているとき、TRIGGER端子から12 Vの信号を出力します。プロジェクターがスタンバイ状態のときは、信号は出力されません。

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

イルミネーション

プロジェクターが起動中のランプの点灯設定を切り替えます。

- ①  (メニュー) -  [設置設定] - [イルミネーション] - 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

プロジェクターのランプが点灯します。

切：

プロジェクターのランプは点灯しません。

パネルアライメント

投写画面上の文字や映像の色ずれを微調整します。

- ① (メニュー) - [設置設定] - [パネルアライメント] - 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

調整：

[調整アイテム] と [調整色] を選択して、色ずれを調整できます。

- [調整アイテム]：調整方法を以下より選択します。
 - － [シフト]：画面全体をシフトして調整します。
 - － [ゾーン]：調整したい範囲を指定して調整します。
- [調整色]：色ずれの気になる色を指定します。[G]（緑）を基準に調整するため、[R]（赤）または[B]（青）を選択します。
- [調整パターン色]：[調整色]が[R]（赤）の場合は、[R/G]（赤と緑）または[R/G/B]（白、全色）を選択します。[調整色]が[B]（青）の場合は、[B/G]（青と緑）または[R/G/B]（白、全色）を選択します。
- [調整]：[調整色]で選択した色のシフト調整およびゾーン調整を、コントロールキー（上／下／左／右）で行います。
 - － [シフト] 選択時：コントロールキー（左／右）で水平方向（H）、コントロールキー（上／下）で垂直方向（V）の調整量を設定します。



- － [ゾーン] 選択時：調整する位置を選択します。コントロールキー（左／右）で水平位置（H位置）、コントロールキー（上／下）で垂直位置（V位置）を選択し、（決定）ボタンを押します。



コントロールキー（左／右）で水平方向（H）、コントロールキー（上／下）で垂直方向（V）の調整量を設定します。（決定）ボタンを押すと、調整する位置を再度選択できます。



- [リセット] : 設定がお買い上げ時の値に戻ります。

プリセット :

補正データがプリセットされています。



ご注意

- 調整値によっては、色付きや解像感に変化が生じる場合があります。

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

フランジバック補正

画面のピントを調節します。通常はこの機能を使ってピントを調整する必要はありません。特別な環境下において設置する場合にお使いください。



- 1  (メニュー) -  [設置設定] - [フランジバック補正] を選ぶ。
- 2 コントロールキー (上/下/左/右) で画面のピントを合わせる。

ヒント

- [レンズ フォーカス] とは異なる機能です。



ネットワーク設定

インターネットプロトコル設定を行います。

- ①  (メニュー) -  [設置設定] - [ネットワーク設定] - 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

IPv4設定：

- [IPアドレス設定]：IPアドレスの設定方法を選択します。
 - － [自動(DHCP)]：ルーターなどのDHCPサーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。
 - － [手動]：手動でネットワークを設定します。[IPアドレス設定]で[手動]を選択したときには、[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]を入力します。コントロールキー（上／下）で各項目を選択して、（決定）ボタンを押します。その後、コントロールキー（左／右）で入力する枠を選び、コントロールキー（上／下）で値を入力します。すべての設定が終了したら、[適用]を選び、（決定）ボタンを押すと設定が有効になります。
- [IPアドレス]：プロジェクターのIPアドレスを設定します。
- [サブネットマスク]：プロジェクターのサブネットマスクを設定します。
- [デフォルトゲートウェイ]：プロジェクターのデフォルトゲートウェイを設定します。
- [MACアドレス]：プロジェクターのMACアドレスを表示します。変更はできません。
- [適用]：手動で設定したIPアドレスを有効にします。

IPv6情報：

IPv6アドレス情報を表示します。



IPv6アドレス設定を行う場合は、ウェブブラウザから設定してください。

関連項目

- [ネットワーク設定をする](#)

プロジェクターの情報を確認する

プロジェクターの機種名、シリアルナンバー、投影時の画像の信号種類、ソフトウェアのバージョンなどの情報を確認できます。

- 1  (メニュー) -  【情報】を選ぶ。

確認できる項目の詳細

モデル名：

機種名を表示します。

シリアルNo.：

シリアルナンバーを表示します。

信号種類：

表示している映像の解像度を表示します。

システムバージョン：

システムソフトウェアのバージョンを表示します。

プロジェクターバージョン：

プロジェクターソフトウェアのバージョンを表示します。

オーディオバージョン：

オーディオソフトウェアのバージョンを表示します。

リモコンバージョン：

リモコンソフトウェアのバージョンを表示します。


ライト使用時間：

これまでのライト使用時間を累積して表示します。

プリセットメモリーについて

このプロジェクターは、投影可能な信号の種類、フォーマットに対して最適な表示となるよう、映像データがあらかじめ設定されています（プリセットメモリー）。

プリセットメモリーに対応した信号を入力したときは、プロジェクターが入力信号を自動的に判断し、プリセットメモリー内のデータを呼び出して適切な映像を投影します。

入力信号の種類は  【情報】メニューで確認できます。

ご注意

- このメニュー項目は調整や変更ができません。
- 入力するコンピューター信号によっては、画面の一部が欠けたり、正しく表示されなかったりする場合があります。

関連項目

- [入力信号種類・フォーマット一覧（プリセットメモリーナンバー）](#)

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

ソフトウェアをアップデートする

プロジェクターのソフトウェアのアップデートが必要になった場合は、下記ウェブサイトにはアップデート情報が掲載されます。

ウェブサイトではアップデート内容、アップデート手順を確認してください。

<http://www.sony.jp/video-projector/update/>

ネットワーク機能でできること

プロジェクターをネットワークに接続することで、以下のことができます。

- ウェブブラウザを利用してプロジェクターの現在の状況を確認する。
- プロジェクターのネットワーク設定を行う。
- 各種ネットワーク監視、制御プロトコル（SDAP（Advertisement）、SDCP（PJ Talk）、DDDP（AMX）、Crestron RoomView、Control4、ADCP（Sony Advanced Display Control Protocol））を使用したコントロールを行う。

ご注意

- プロジェクターをネットワークに接続するときには、ネットワーク管理者にご相談ください。また、セキュリティ対策されたネットワーク環境でご使用ください。
- プロジェクターをネットワークに接続してご使用になるときは、ブラウザでコントロール画面にアクセスし、アクセス制限設定をお買い上げ時の設定から変更してください。また、定期的にパスワードを変更することを推奨します。
- ブラウザでの設定作業が完了したら、ログアウトするためにブラウザを閉じてください。
- 使用できるウェブブラウザは、Internet Explorer 8/9/10/11です。
- 表示可能言語は英語のみです。
- コンピューターからプロジェクターにアクセスするとき、ブラウザがプロキシサーバーを使用する設定になっている場合は、プロキシサーバーを使用しない設定にしてください。
- AMX DDDPはIPv6に非対応です。
- これらのネットワーク機能はプロジェクターの電源が入っているときに有効となります。

関連項目

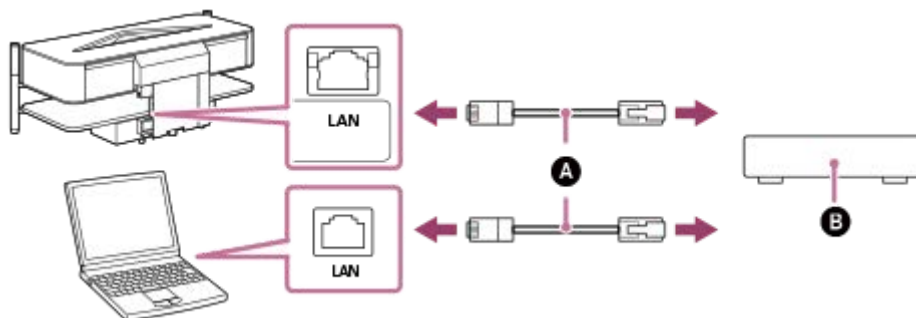
- [ネットワークセキュリティに関するご注意](#)

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

ネットワーク設定をする

ウェブブラウザでプロジェクターのコントロール画面を開いて、ネットワーク設定を行います。

- 1 プロジェクターとパソコンをLANケーブル（ストレート）（別売）（A）でルーターやハブ（B）に接続する。



- 2 (メニュー) - 設定 [設置設定] - [ネットワーク設定] を選び、プロジェクターのネットワーク設定を行う。

一度ネットワーク設定を行えば、次回からは手順3 の操作だけでコントロール画面を表示できます。

- 3 ウェブブラウザを起動し、アドレス欄に以下を入力しEnterキーを押す。

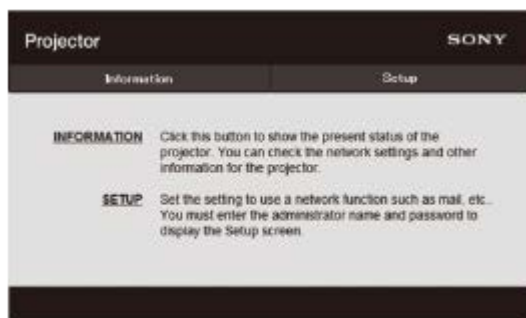
http://xxx.xxx.xxx.xxx

(xxx.xxx.xxx.xxx : プロジェクターのIPアドレス)

IPv6アドレスで接続する場合

http://[xxxx:xxxx: ~ xxxx]

プロジェクターのIPアドレスは、設定 [設置設定] - [ネットワーク設定] で確認できます。
ブラウザに以下のようなコントロール画面が表示されます。



ご注意

- 説明で使用している画面はイメージです。ご使用になっている機種によっては異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

関連項目

- ネットワーク設定

- ネットワークセキュリティに関するご注意

4-732-089-01(1) Copyright 2018 Sony Corporation

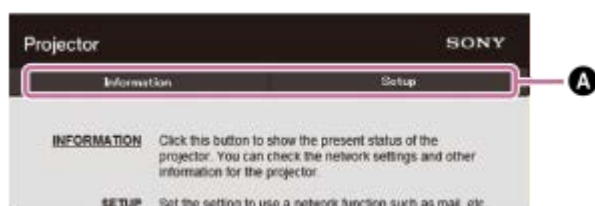
ビデオプロジェクター
LSPX-A1

コントロール画面を操作する

ブラウザに表示されたコントロール画面からアクセス制限を設定したり、プロジェクターの状態を確認したりできます。

ページを切り替えるには

ページ切り替えボタン（**A**）をクリックして、設定したいページを表示してください。



アクセス制限を設定するには

ページ切り替えボタンの「Setup」を選びます。「Setup」ページで各ページの利用者を次のように制限できます。

- **Administrator** : 管理者としてすべてのページにアクセス可能です。
- **User** : ユーザーとして「Setup」ページ以外にアクセス可能です。

初めて「Setup」ページにアクセスするときは、認証ダイアログのユーザー名に「root」、パスワードに「Projector」と入力してください。

初めてログインすると、パスワードの変更を求める画面が表示されます。画面に表示される手順に沿ってパスワードを変更してください。

なお、管理者の名前は「root」に固定されています。



A Administrator権限の入力エリア

B User権限の入力エリア

パスワードは、「Setup」ページ内の「Password」ページから変更できます。

パスワードを変更する場合は、設定されているパスワード（*****）を削除してから、新しいパスワードを入力してください。

管理者、ユーザーパスワードは、英字と数字の両方を含む8桁以上16桁以内で設定してください。英字の大文字、小文字は区別されます。

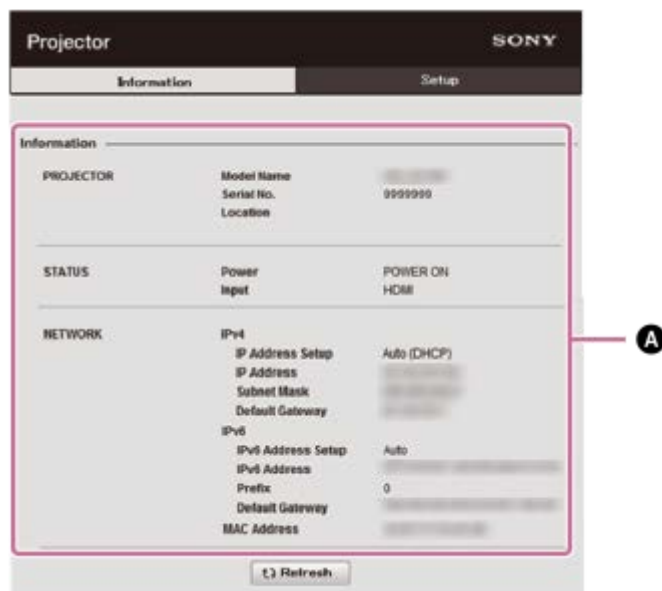
初期パスワード「Projector」を新しいパスワードとして設定することはできません。

ご注意

- パスワードを忘れたときは、ソニーの相談窓口へお問い合わせください。

プロジェクターの現在の状態を確認するには

ページ切り替えボタンの「Information」を選びます。



A 情報エリア

ご注意

- 説明で使用している画面はイメージです。ご使用になっている機種によっては異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

関連項目

- [ネットワークセキュリティに関するご注意](#)

設置／使用に適さない状態について

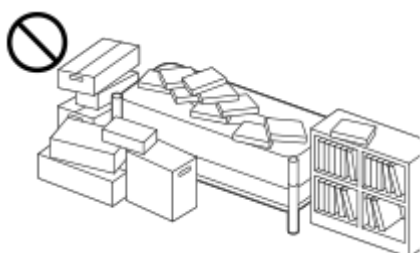
一般家庭用以外での使用による故障や損傷、または、それに伴う損害などは保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

設置に適さない場所

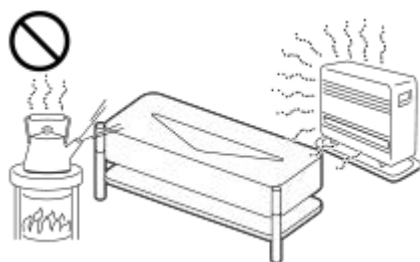
次のような場所には置かないでください。故障や破損の原因となります。

風通しの悪い場所

プロジェクターの上面や側面10 cm以内、正面30 cm以内には物を置かないようにしてください。



温度や湿度が非常に高い場所



ほこりが多い場所、たばこの煙などが直接入る場所

このような場所で使用するとエアフィルターがつまりやすくなったり、故障の原因となることがあります。



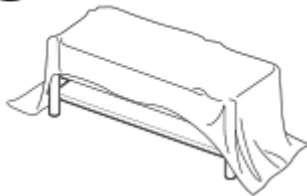
その他のご注意

- 空調からの風や、プロジェクターまたはほかの周辺機器からの排気などの影響で、まれに画面にゆらぎが発生する場合があります。空調の風やこれら排気がレンズ部に回り込まないように設置にご注意ください。
- 製品の脚に砂やゴミなどが入り込んだ場合、床を傷つけることがあります。

使用に適さない状態

次のような状態では使用しないでください。

吸気口／エアフィルターや排気口を覆う



プロジェクターを前後左右に傾ける


床置き以外での設置でお使いになることは避けてください。色むらや光源の信頼性を著しく損ねる原因となることがあります。

プロジェクターを前後に傾けて配置すると投写面上の画像は台形状になります。投写面とプロジェクターを平行となるように配置してください。

故障した状態で使用しない

故障した場合はプロジェクターの使用を中止してください。故障したまま使用を続けると、場合によってはレーザー光によって目に障害を与える可能性があります。故障した製品の使用は火災や事故の原因になるだけでなく、視力障害を引き起こす可能性があります。

標高の高い場所でご使用になる場合

海拔1,500 m以上の場所でご使用のときは、 [初期設定] メニューの [高地モード] を [入] にしてください。そのまま使用すると、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。

設置時のご注意

本製品に接続されるルーターなどは、電気通信事業法に基づく技術基準に適合しているものを接続してください。

関連項目

- [高地モード](#)
- [使用上のご注意](#)

使用上のご注意

一般家庭用以外での使用による故障や損傷、または、それに伴う損害などは保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

プロジェクターを廃棄するときのご注意

プロジェクターを廃棄する場合は決して分解はせず、国や地域の法律・条例に従って廃棄してください。

光源まわりの点検について

プロジェクターはレーザーを使用しているため、光源まわりの点検などの整備を行う場合は、特別な注意と環境が必要です。必ずソニーの相談窓口にご依頼ください（有料）。

レーザーについて

- 特にお子様などが、投写口をのぞき込んでいないか確認してから電源を入れてください。強い光が目には悪影響を与えることがあります。
- 投写光に鏡やルーペなどの光学器具を当てたりしないでください。目や人体に悪影響を与えたり、火災や事故の原因となる可能性があります。

液晶プロジェクターについて

液晶プロジェクターは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、赤と青、緑の点が消えなかったりすることがあります。また、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合もあります。これらは、プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。また、複数台の液晶プロジェクターを並べてスクリーンへ投写する場合、プロジェクターごとに色合いのバランスが異なるため、同一機種の手組み合わせであってもそれぞれ色合いの違いが目立つ場合があります。

ツイーターについて

プロジェクターのツイーター部分に有機ガラスを使っています。有機ガラスは間違った使いかたをすると、ガラスが破損したり、大けがを負ったり、ときには失明に至ることがあります。また、音質に悪影響を与え、ときには故障に至る可能性があります。事故や故障を防ぐために次のことを必ず守ってください。

- 強い衝撃を与えない
高いところから落としたり、物をぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。固い物をぶつけると、それほど強い力でなくても割れたり、欠けやヒビ、変形が発生し、故障や性能劣化の原因となることがあります。
- 傷付けない
小さな欠けやヒビが原因で、割れることがあります。傷付けた直後には割れず、思いがけないときに突然割れることもあります。また、欠けやヒビ、大きな傷により、音質が劣化したり、機能に不具合が生じる可能性があります。
- 極端な温度変化を与えない
有機ガラスは耐熱ガラスではありません。熱いものを上に載せたり、そばに近づけたりしないでください。極端な温度変化でガラスが割れたり、変形することがあります。
- 強い力で引っ張らない
ツイーター部分は引っ張ると外れます。強い力で無理に引っ張ると、思わぬ力が加わり割れたり、欠けたりすることがあります。

有機ガラス管の割れや欠け、ヒビ、大きな傷などの異常に気づいた場合は、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にお問い合わせください。

結露について

- プロジェクターを設置している室内の急激な温度変化および、寒いところから急に暖かい場所へ持ち込んだときなどは結露を引き起こすことがあります。
- 結露は故障の原因となりますので、冷暖房の温度調節にはご注意ください。
- 結露が起きたときは、プロジェクターの電源を入れたまま約2時間放置した後でお使いください。

AC電源の遮断について

電源ボタンを押して電源を切っても、プロジェクターは電源からは完全には遮断されていません。電源から切り離すためには、電源プラグをコンセントから抜く必要があります。不具合を感じた場合はすぐにコンセントからプラグを抜けるように、コンセントの近くでプロジェクターをお使いください。

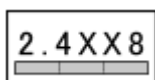
取り扱いについて

キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類やハードディスクドライブをプロジェクターに近づけないでください。マグネットの磁気の影響でカードが使えなくなったり、故障の原因となることがあります。

プロジェクター使用上のご注意

プロジェクターとリモコンの使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、裏表紙に記載のソニーご相談窓口にお問い合わせください。



この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてその他の変調方式を採用し、与干渉距離は80 mです。プロジェクターは「高調波電流規格「JIS C 61000-3-2 適合品」です。ここに規定した以外の手順による制御および調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。

関連項目

- [設置／使用に適さない状態について](#)
- [ネットワークセキュリティに関するご注意](#)
- [コーションラベル／機銘板について](#)

ネットワークセキュリティに関するご注意

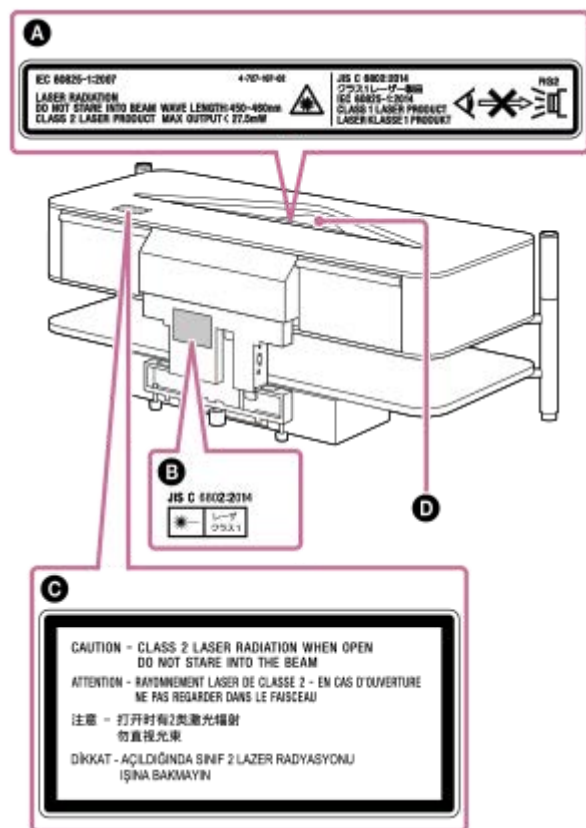
- 通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩など、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
- 使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者から製品にアクセスされる可能性があります。プロジェクターをネットワークに接続するときには、セキュアなネットワークであることをご確認の上ご使用ください。
- セキュリティの面から、製品をネットワークに接続してご使用になるときは、ブラウザでコントロール画面にアクセスし、アクセス制限設定をお買い上げ時の設定値から変更して設定することを強く推奨します。また、定期的にパスワードを変更することを推奨します。
- 設定作業中または設定作業後のブラウザで他のサイトを閲覧しないでください。ブラウザにログインした状態が残りますので、意図しない第三者の使用や悪意のあるプログラムの実行を防ぐために、設定作業が完了したら必ずブラウザを終了してください。

関連項目

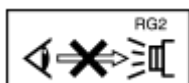
- [ネットワーク設定](#)
- [ネットワーク機能でできること](#)
- [ネットワーク設定をする](#)
- [コントロール画面を操作する](#)

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

コーションラベル／機銘板について



Ⓐ コーションラベル



明るい光源と同じように、ビームをのぞき込まないこと。
RG2 IEC 62471-5:2015

Ⓑ 機銘板



JIS C 6802:2014
クラス1レーザー製品
機銘板にはプロジェクターの型名とシリアル番号も記載されています。

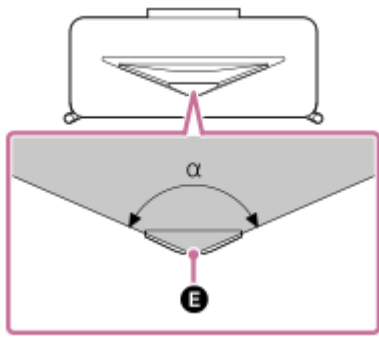
Ⓒ ラベル（サービス用）

Ⓓ レーザー開口

レーザー特性

3.75 W レーザーダイオード24個（450 nm ～ 460 nm）

投写口（レンズ）からのビームの広がり角



$\alpha=133^\circ$

E = レーザー出射口

関連項目

- [使用上のご注意](#)

エアフィルターを掃除する

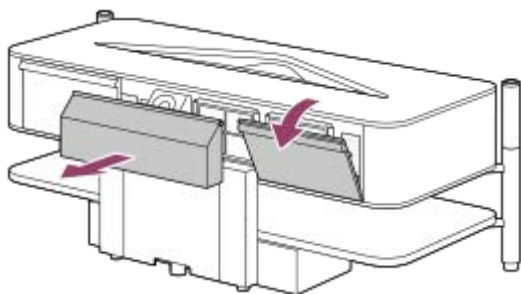
ご注意

- エアフィルターは、1年を目安に定期的に掃除してください。エアフィルターをそのまま使用し続けると、ゴミがたまり、内部に熱がこもって、故障・火災の原因となることがあります。

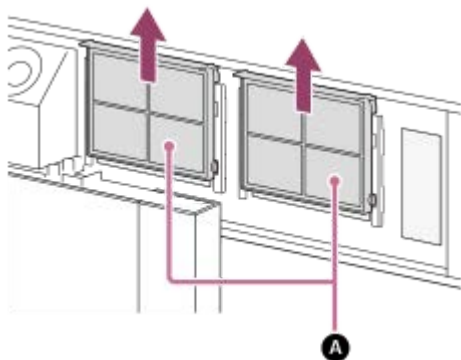
エアフィルターを掃除しても汚れが落ちないときは、新しいエアフィルターに交換してください。新しいエアフィルターについては、ソニーの相談窓口にご依頼ください。

① 電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。

② スピーカーカバー、メッシュカバーを取り外す。

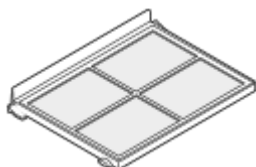


③ エアフィルター (A) をプロジェクターから引き出す。



④ 掃除機でフィルターを掃除する。

フィルターの表面と裏面を掃除してください。



⑤ エアフィルターを取り付ける。

⑥ スピーカーカバー、メッシュカバーを取り付ける。

ご注意

- エアークフィルタを確実に取り付けてください。所定の位置に取り付けないと、脱落の原因となることがあります。
- 水洗いした場合は、充分に乾かして使用してください。

4-732-089-01(1) Copyright 2018 Sony Corporation

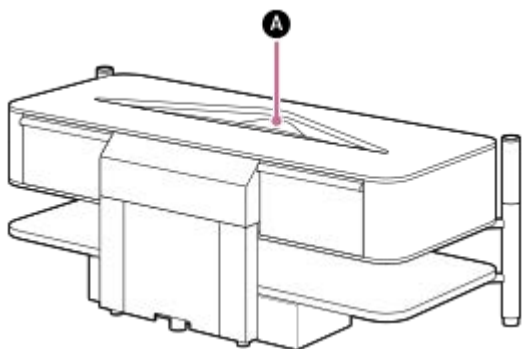
外装や投写口のお手入れ

外装のお手入れ

- 外装の汚れを拭きとるときは、付属のクリーニングクロスで拭きとってください。外装の汚れがひどいときは、柔らかい布に薄い中性洗剤溶液を少し含ませて拭きとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナーなどは使わないでください。表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあります。
- 布にゴミが付着したまま強く拭いた場合、傷が付くことがあります。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

投写口のお手入れ

投写口（**A**）の汚れを拭き取るときは、付属のクリーニングクロスを使用して優しく拭いてください。投写口はガラスでできています。強い力で押したり叩いたりすると、割れてけがをすることがあります。



背面のカバーのお手入れ

カバー（スピーカーカバー、メッシュカバー、スタンドカバー）の汚れを拭き取るときは、付属のクリーニングクロスを使用して優しく拭いてください。強くこすると傷が付いてしまうことがあります。

ツイーターのお手入れ

- いきなり強く拭かず、柔らかい筆か羽根ぼうきで塵を払い落としてから、付属のクリーニングクロスで乾拭きしてください。タワシやスポンジなどは絶対に使用しないでください。
- 指紋や油しみなどは息を吹きかけ、付属のクリーニングクロスで拭き取ってください。
- 汚れがひどいときのみ、水またはぬるま湯の石鹼水に浸して固く絞った柔らかい布で拭き取ってください。
- 中性洗剤やシンナー、ベンジン、アルコールなどは、表面の仕上げをいためますので、使わないでください。
- ツイーターの内部は埃が付着しないように加工されていますので、分解しないでください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げ時にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について


当社では、ビデオプロジェクターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。
この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

メッセージ一覧

警告メッセージ

メッセージ	意味と対処
〔リモコンにエラーが発生しました。リモコンを再設定してください。〕	リモコンとプロジェクターの接続が切断されました。リモコンの-ボタンと \times （消音）ボタンを、リモコン上部のランプが点滅するまで同時に押し続けてください。ランプが消灯すると接続完了です。
〔リモコンが故障しています。サポートセンターにご連絡ください。〕	リモコンまたはプロジェクターが故障し、通信できない状態になっています。サポートセンターへ連絡してください。
〔再生できないオーディオ信号です。〕	再生できないオーディオ信号です。接続機器の音声出力を確認してください。
〔セット内部温度が高いです。1分後にライトオフします。〕	電源を切ってください。
	排気口、吸気口がふさがっていないか、エアーフィルターがつまっていないかを確認してください。
	室温が高くないか確認し、高い場合は常温（目安は25℃）まで下げてください。
	ゲーム機などの消費電力が大きい機器を棚板に配置すると、機器からの放熱の影響により、プロジェクターの内部温度が高温になります。
〔入力信号の周波数が対応範囲をこえています！〕	入力信号の周波数が対応範囲を超えています。接続機器の映像出力を確認してください。
〔本機内部の温度が高くなっていますので、高地モードを入に切り替えます。高地でご使用の際は、高地モードは入でお使いください。〕	排気口、吸気口がふさがっていないか、エアーフィルターがつまっていないかを確認してください。 機内部温度が下がらないと、1分後に〔高地モード〕が〔入〕に切り替わり、ファンの回転数が上がります。
〔パワーセービングが設定されています。1分後に自動的にスタンバイになります。〕	〔パワーセービング〕が〔スタンバイ〕に設定されています。 入力信号がない場合、1分後に電源が切れ、スタンバイ状態となります。

注意メッセージ

メッセージ	意味と対処
〔リモコンの電池残量が少なくなっています。電池を交換してください。〕	リモコンの単4形乾電池を2本とも新しいものに交換してください。
\times 	選択されている入力端子に何も入力されていません。接続を確認してください。
〔無効キーが押されました！〕	正しいボタンで操作してください。

メッセージ	意味と対処
[セッティングロック中です。]	[セッティングロック] が [レベル A] または [レベル B] に設定されています。

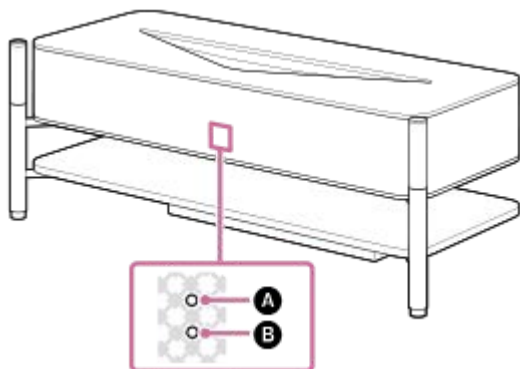
関連項目

- [HDMI機器を接続する](#)
- [高地モード](#)
- [パワーセービング](#)
- [セッティングロック](#)
- [使用上のご注意](#)
- [エアーフィルターを掃除する](#)
- [入力信号種類・フォーマット一覧（プリセットメモリーナンバー）](#)

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

プロジェクター前面のランプが赤く光るときは

プロジェクター前面の2つのランプの点灯または点滅で不具合をお知らせします。



● A 赤点灯 ・ ● B 赤点滅



● 3回点滅

光源および光源電源の異常により正しく点灯できない状態になっています。電源を切り、しばらくたってから電源を入れ直してください。

電源を入れ直しても症状が改善されない場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。

● 6回点滅

衝撃を検出しました。


異常時はソニーの相談窓口にご相談ください。異常がない場合は、電源コードをコンセントから抜いてランプが消えるのを確認してください。そのあと、電源コードをコンセントに接続して、電源を入れ直してください。

● 7回点滅

プロジェクターに異常を検出、あるいはHDMI機器との接続にエラーが発生しています。

電源コードをコンセントから抜いてランプが消えるのを確認してください。そのあと、電源コードをコンセントに接続して、電源を入れ直してください。

上記を行っても症状が改善しない場合は、以下の手順を行ってください。

1. HDMI機器の電源を切り、プロジェクターからHDMI機器を取り外す。
 2. プロジェクターの電源を切り、再度プロジェクターの電源を入れる。
 3.  [初期設定] メニューで [ネットワーク管理] の設定を [入] にする。
 4. プロジェクターの電源を切る。
 5. HDMI機器をつなぐ。
 6. プロジェクターの電源を入れたあと、HDMI機器の電源を入れる。
- この手順を行っても症状が改善されない場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。

● A ● B 同時に赤点滅



● 2回点滅

プロジェクター内部温度が高温になっています。

排気口、吸気口がふさがれていないか、エアーフィルターがつまっていないか、標高が高い場所で使用していないか確認してください。

室温が高くないか確認し、高い場合は常温（目安は25℃）まで下げてください。

ゲーム機などの消費電力が大きい機器を棚板に配置すると、機器からの放熱の影響により、プロジェクターの内部温度が高温になります。

- 3回点滅
ファンが故障しています。ソニーの相談窓口にご相談ください。

ご注意

- 上記以外の点滅や上記対応をしても症状が解決しない場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。

関連項目

- [ネットワーク管理](#)
- [お問い合わせ先](#)
- [使用上のご注意](#)
- [エアーフィルターを掃除する](#)

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

電源が入らない。


- プロジェクター前面のランプでプロジェクターの状態を確認してください。
- 電源コードを挿してから電源を入れられる状態になるまで10秒程度時間がかかることがあります。少し時間をおいてから電源を入れてください。
- リモコンのランプがオレンジ色に点滅している場合は、電池が消耗しています。2本とも新しい乾電池に交換してください。

関連項目

- [プロジェクター前面のランプが赤く光るときは](#)

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

突然電源が切れた。


-  [初期設定] メニューの [パワーセービング] を [スタンバイ] に設定していると、プロジェクターに信号が入力されない状態が10分以上続いたとき、節電のため自動的に電源が切れ、スタンバイ状態になります。[パワーセービング] を [切] に設定してください。

関連項目

- [パワーセービング](#)

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

映像が映らない。

- 再生する機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。
-  (入力切替) ボタンで入力を正しく選んでください。
- 接続しているコンピューターの出力設定が外部モニター出力になっていることを確認してください。ノート型のコンピューターなどで、出力信号をコンピューターの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に出力するように設定すると、外部モニターに正しく映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターにのみ信号が出力されるように、コンピューターを設定してください。

関連項目


- [HDMI機器を接続する](#)
- [映像を投写する](#)

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

電源を入れた直後に黒画面になる。


HDMI機器との接続にエラーが発生しました。

接続するHDMI機器の機種によってはこの症状が発生することがあります。以下の手順を行ってください。

1. HDMI機器の電源を切り、プロジェクターからHDMI機器を取り外す。
 2. プロジェクターの電源を切り、再度プロジェクターの電源を入れる。
 3.  [初期設定] メニューで [ネットワーク管理] の設定を [入] にする。
 4. プロジェクターの電源を切る。
 5. HDMI機器をつなぐ。
 6. プロジェクターの電源を入れたあと、HDMI機器の電源を入れる。
- この手順を行っても症状が改善されない場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

明るい部分や暗い部分の映像が明るくなりすぎたり暗くなりすぎる。

- HDMI規格からはずれた信号レベルで入力されたときに症状が出る場合があります。つないだ機器の出力レベルを切り替えるか、プロジェクターの  [機能設定] メニューで [ダイナミックレンジ] を切り替えて、映像入力レベルを設定してください。

関連項目

- [ダイナミックレンジ](#)

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

画面が暗い。


-
-  [画質設定] メニューで [コントラスト]、[明るさ] を調整してください。
-

関連項目

- [コントラスト](#)
- [明るさ](#)

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

画面がぼやける。


-  [設置設定] メニューで [レンズ フォーカス] を調整して、画面のフォーカスを合わせてください。
- 結露が生じると、画面がぼやけることがあります。電源を入れたまま約2時間放置してください。

関連項目

- [レンズ フォーカス](#)

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

文字や映像の色ずれが気になる。

-  [設置設定] メニューの [パネルアライメント] で調整してください。

関連項目

- [パネルアライメント](#)

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

画面に残像が現れる。

- 画面の同じ位置にコントラストの強い静止画を長時間表示し続けると、一時的な残像が現れることがあります。いったん電源を切り、しばらくすると残像は自然に消えます。

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

画面がゆがんでいる。

- プロジェクターと壁が平行になっていないと、画面がゆがみます。プロジェクターを壁と平行に設置してください。

関連項目

- [設置の手順](#)
- [投写サイズを調整する](#)

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

レンズシフトが動かない。


- レンズシフトは可動範囲を超える方向へは動きません。可動範囲内でご使用ください。

関連項目

- [レンズ シフト](#)
- [設置距離と画面サイズ](#)

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

HDR機能が働かない。

-
-  [機能設定] メニューの [HDMI信号フォーマット] を [拡張フォーマット] へ変更してください。
-

関連項目

- [HDMI信号フォーマット](#)

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

画面の一部にピンク色や緑色の色付きが発生する。

- 使用環境によっては、起動後、約1～3分後に画面の一部にピンク色や緑色の色付きが発生することがあります。電源を入れたまま更に5分間程度お待ちいただくと、この症状は自然に解消します。

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

音が再生されない。


- サブウーファー用ケーブルの+側と-側の導線が直接接触してショートしていると、システム保護が働き音が再生されません。プロジェクターとサブウーファーが正しく接続されているか確認してください。
- 電源を切り、再度電源を入れ直してみてください。

関連項目

- [設置の手順](#)

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

画面表示が出ない。

-
-  [初期設定] メニューで [画面表示] の設定を [入] にしてください。
-

関連項目

- [画面表示](#)

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

リモコンが働かない。

- 電池が消耗しています。2本とも新しい電池と交換してください。
- 電池の+と-を確認し、正しい向きでリモコンに入れてください。

関連項目

- [リモコンに電池を入れる](#)

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

リモコンをなくして操作できない。

- プロジェクター底面の操作ボタンを使って操作してください。

関連項目

- [各部の名前（プロジェクター）](#)

4-732-089-01(1) Copyright 2018 Sony Corporation

ビデオプロジェクター
LSPX-A1


リモコンのランプがオレンジ色に点滅している。

- 電池が消耗しています。2本とも新しい電池と交換してください。

関連項目

- [リモコンに電池を入れる](#)
- [各部の名前（リモコン）](#)

ファンの音が気になる。

-  [初期設定] メニューで [高地モード] の設定を [入] にすると、ファンの回転数が上がるため、ファンの音が大きくなります。その場合は [高地モード] を [切] にしてください。
- エアーフィルターがつまっていないか確認してください。
- プロジェクターの設置条件を確認してください。
部品の信頼性を保つために、常温より室温が高くなるとファンの回転数が上がり、音が大きくなります。常温の目安は25℃です。
- ゲーム機などの消費電力が大きい機器を棚板に配置すると、機器からの放熱の影響により、プロジェクターの内部温度が高温になるため、ファンの回転数が上がる場合があります。

関連項目

- [高地モード](#)
- [エアフィルターを掃除する](#)

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

お問い合わせ先

使い方相談窓口

- フリーダイヤル : 0120-333-020
- 携帯電話・PHS・一部のIP電話 : 050-3754-9577
- FAX : 0120-333-389

修理相談窓口

- フリーダイヤル : 0120-222-330
- 携帯電話・PHS・一部のIP電話 : 050-3754-9599
- FAX : 0120-333-389

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「203」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつながります。

ビデオプロジェクター
LSPX-A1

主な仕様

ビデオプロジェクター

プロジェクター

投写方式

3原色液晶シャッター投写方式

表示素子

有効表示サイズ：SXRD 0.74型 × 3

有効画素数：4096 × 2160 × 3 画素

投写レンズ

ズーム：電動

フォーカス調整：電動

シフト調整：電動

画面サイズ

85型 ～ 120型 (2,160 mm ～ 3,050 mm)

光源

レーザーダイオード

オーディオ

スピーカー

ツイーター：有機ガラス管型 × 2 ch (L/R)

ミッドレンジスピーカー：密閉型 × 3 ch (L/C/R)

アンプ

ミッドレンジスピーカー：23 W × 3 ch

サブウーファー：50 W × 1 ch

入出力

入出力端子

HDMI端子 (HDCP2.2)：× 3

REMOTE端子：RS-232C、D-Sub9ピン

LAN端子：RJ45、10BASE-T/100BASE-TX

TRIGGER端子：ミニジャック、DC 12 V、最大100 mA

WOOFER端子

無線

Bluetooth®

Bluetooth® 4.2：リモコン操作用

その他

最大外形寸法（幅 × 奥行き × 高さ）

約1,255 mm × 559 mm × 470 mm

（各種カバー装着時）

質量

約75 kg

（棚板、ツイーター含む。サブウーファー除く。）

電源

AC 100 V 50/60 Hz

消費電力

475 W

待機電力（スタンバイモード）

0.5 W

使用温度（使用湿度）

5 °C ～ 35 °C（20% ～ 80%（結露なきこと））

保存温度（保存湿度）

-10 °C ～ +60 °C（20% ～ 80%（結露なきこと））

サブウーファー

スピーカー

バスレフ・水平対向配置型 × 1 ch

最大外径寸法（幅 × 奥行き × 高さ）

約641 mm × 223 mm × 114 mm

質量

約6.6 kg

リモコン

無線

Bluetooth® 4.2

最大外径寸法（幅 × 奥行き × 高さ）

約40 mm × 18 mm × 170 mm

質量

約100 g

電源

単4形乾電池2本

入力信号種類・フォーマット一覧（プリセットメモリーナンバー）

プロジェクターで投影可能な信号の種類・フォーマットの一覧表です。
これ以外の信号に対しては、正しい投影ができなくなる場合がありますので、ご注意ください。

プリセットメモリーナンバー	プリセット信号（解像度）		fH (kHz)	fV (Hz)	同期
5	480/60p	480/60p（倍速NTSC）（720 × 480p）	31.470	60.000	-
6	576/50p	576/50p（倍速PAL）（720 × 576p）	31.250	50.000	-
7	1080/60i	1035/60i（1920 × 1035i） 1080/60i（1920 × 1080i）	33.750	60.000	-
8	1080/50i	1080/50i（1920 × 1080i）	28.130	50.000	-
10	720/60p	720/60p（1280 × 720p）	45.000	60.000	-
11	720/50p	720/50p（1280 × 720p）	37.500	50.000	-
12	1080/60p	1080/60p（1920 × 1080p）	67.500	60.000	-
13	1080/50p	1080/50p（1920 × 1080p）	56.260	50.000	-
14	1080/24p	1080/24p（1920 × 1080p）	26.973	23.976	-
26	640 × 480	VGA	31.469	59.940	H- 負、 V- 負
32	800 × 600	SVGA	37.879	60.317	H- 正、 V- 正
37	1024 × 768	XGA	48.363	60.004	H- 負、 V- 負
45	1280 × 960	QVGA	60.000	60.000	H- 正、 V- 正
47	1280 × 1024	SXGA	63.974	60.013	H- 正、 V- 正
50	1400 × 1050	SXGA+	65.317	59.978	H- 負、 V- 正
55	1280 × 768	WXGA	47.776	59.870	H- 負、 V- 正
74	3840 × 2160/60p	3840 × 2160/60p（3840 × 2160）	133.293	59.988	-
75	3840 × 2160/50p	3840 × 2160/50p（3840 × 2160）	112.500	50.000	-
76	4096 × 2160/60p	4096 × 2160/60p（4096 × 2160）	133.264	59.975	-

プリセットメモリーナンバー	プリセット信号（解像度）		fH (kHz)	fV (Hz)	同期
77	4096 × 2160/50p	4096 × 2160/50p (4096 × 2160)	112.500	50.000	-
78	4096 × 2160/30p	4096 × 2160/30p (4096 × 2160)	67.500	30.000	-
79	4096 × 2160/25p	4096 × 2160/25p (4096 × 2160)	56.250	25.000	-
93	3840 × 2160/24p	3840 × 2160/24p (3840 × 2160)	53.946	23.976	-
94	3840 × 2160/25p	3840 × 2160/25p (3840 × 2160)	56.250	25.000	-
95	3840 × 2160/30p	3840 × 2160/30p (3840 × 2160)	67.433	29.970	-
96	4096 × 2160/24p	4096 × 2160/24p (4096 × 2160)	54.000	24.000	-

入力信号種別ごとの対応プリセットメモリーナンバー

デジタル信号

信号	プリセットメモリーナンバー
コンポーネント信号	5 ～ 8、10 ～ 14、74 ～ 79、93 ～ 96
ビデオGBR信号	5 ～ 8、10 ～ 14、74 ～ 79、93 ～ 96
コンピューター信号	10（＊1）、12（＊1）、26、32、37、45、47、50、55

*1 デジタル入力のコンピューター信号の中には、コンポーネント信号あるいはビデオGBR信号のプリセットメモリーナンバーとして表示される入力信号があります。

入力信号と調整／設定項目

メニューによっては、入力信号の種類によって調整／設定できる項目が異なります。詳しくは下の表をご覧ください。
調整／設定できない項目はメニューに表示されません。

【画質設定】メニュー

項目	入力信号		
	コンポーネント信号	ビデオGBR信号	コンピューター信号
リアリティークリエーション	○	○	×
レーザーライト設定	○	○	○
コントラストエンハンサー	○	○	×
モーションフロー	○	○	×
コントラスト	○	○	○
明るさ	○	○	○
色の濃さ	○	○	×
色あい	○	○	×
色温度	○	○	○
シャープネス	○	○	×
NR	○	○	×
MPEG NR	○	○	×
スムーズグラデーション	○	○	×
フィルムモード	○（＊1）	○（＊1）	×
ガンマ補正	○	○	○
カラーコレクション	○	○	○
クリアホワイト	○	○	○
x.v.Color	○	×	×
HDR	○（＊2）	○（＊2）	×
カラースペース	○	○	○

○：調整／設定できる項目

×：調整／設定できない項目

*1 プリセットメモリーナンバー5、6、10～14、74～79、93～96を除く。

*2 プリセットメモリーナンバー74～79、93～96のみ。

【スクリーン設定】メニュー

項目	入力信号		
	コンポーネント信号	ビデオGBR信号	コンピューター信号
アスペクト	○（＊1）	○（＊2）	×


○：調整／設定できる項目

×：調整／設定できない項目

*1 プリセットメモリーナンバー76 ～ 79、96を除く。

*2 プリセットメモリーナンバー78、79、96を除く。


ご注意

- HDMIなどのケーブルを接続したときは、 [情報] メニューのモデル名と、入力信号種別ごとの対応プリセットメモリーナンバーを確認して、調整／設定できる項目を確認してください。

関連項目

- [アスペクトモード](#)
- [プロジェクターの情報を確認する](#)
- [入力信号種類・フォーマット一覧（プリセットメモリーナンバー）](#)

アスペクトモード

 [スクリーン設定] メニューの [アスペクト] は、入力される信号の解像度によって、選択できない項目があります。詳しくは下の表をご覧ください。選択できない項目は、メニューに表示されません。


対応解像度	4096 × 2160	3840 × 2160	1920 × 1080	1280 × 720	720 × 480 720 × 576	その他
プリセットメモリー ナンバー	76 ~ 79、96	74、75、93 ~ 95	7、8、12 ~ 14	10、11	5、6	26、32、37、45、47、50、55
1.85:1 ズーム	×	○	○	○	○	×
2.35:1 ズーム	×	○	○	○	○	×
ノーマル	○ (*1)	○	○	○	○	○ (*1)
ストレッチ	×	×	×	×	○	×

*1 ノーマル固定のためメニューには表示されません。

関連項目

- [アスペクト](#)
- [入力信号種類・フォーマット一覧（プリセットメモリーナンバー）](#)

調整／設定項目の保存条件

 【画質設定】メニューの各調整／設定項目は、下の表にある保存条件ごとに個別に保存されます。詳しくは下の表をご覧ください。

【画質設定】メニュー

項目		保存条件
ピクチャープリセット		入力端子、かつプリセット信号ごと
標準に戻す		入力端子、かつピクチャープリセットごと
リアリティークリエーション		
レーザーライト設定		
コントラストエンハンサー		
モーションフロー		
コントラスト		
明るさ		
色の濃さ		
色あい		
色温度		
色温度： D93 ～ D55、カスタム 1 ～ カスタム 5	ゲイン R	色温度ごと
	ゲイン G	
	ゲイン B	
	バイアス R	
	バイアス G	
	バイアス B	
シャープネス		入力端子、かつピクチャープリセットごと
NR		
MPEG NR		
スムーズグラデーション		
フィルムモード		
ガンマ補正		
カラーコレクション		
クリアホワイト		

項目		保存条件
x.v.Color		
HDR		
カラースペース		
カラースペース： BT.709 ～ カスタム	赤	カラースペースごと
	緑	
	青	
	シアン - 赤：	
	マゼンタ - 緑：	
遅延低減		入力端子、かつピクチャープリセットごと

商標について

- “x.v.Color”および“x.v.Color”ロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- “DSEE HX”はソニー株式会社の登録商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- Bluetooth®ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、ソニーはライセンスに基づきこのマークを使用しています。
- その他、本書で登録するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では、™、®マークは表記していません。本書に明示されていないすべての権利は、その所有者に帰属します。

HDMI



ビデオプロジェクターの楽しみかた

壁際に置くだけで最大120インチの大画面映像を楽しめるプロジェクターです。

HDR（High Dynamic Range）対応により「立体感」「奥行感」「繊細感」のあるリアルな映像を楽しめます。全体の明暗の差が大きい映像でも細部まできれいに表現されます。

両脚の有機ガラス管ツイーターは、ガラス管全面が振動して音を出し、透明感のあるクリアーな音色を奏でます。居住空間に調和する佇まいのプロジェクターで、4K高解像度の映像と上質な音をお楽しみください。

ご注意

- デザインおよび仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
- 本ヘルプガイドに掲載している画面やイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。